

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

(Windows NT 4.0 インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの
概要と削除/追加

再セットアップするには
他のOSを利用する

トラブル解決Q&A

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

添付品の確認、本機の接続、Windows NT 4.0のセットアップ

→『はじめにお読みください』



本機を安全に使うための情報

→『安全にお使いいただくために』



Windows NT 4.0の基礎知識、基本的な操作方法

→『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』



本機の各部の名称・機能、増設方法、システム設定(BIOS設定)

→『活用ガイド ハードウェア編』



SCSIインタフェースの利用方法

→『PK-UG-X007 Ultra SCSI インタフェースボード(Wide対応)ユーザーズマニュアル』『PK-UG-X007 SCSI SELECTの使い方』
ご使用のモデルによって、添付されていない場合があります。



このマニュアルです

本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、再セットアップ、トラブル解決方法

→『活用ガイド ソフトウェア編』



インストールアプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法

→一太郎Office 8、Word & Excelがあります。
ご使用のモデルによって異なります。



本機のサポート情報、NECへのお問い合わせ先

→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



別売(アスキー出版局発行)

Windows NT 4.0の入門、基本的な利用方法

→『Microsoft Windows NT Workstation Version 4.0オフィシャルマニュアル』



Windows NT 4.0の技術情報、高度な利用方法

→『Microsoft Windows NT Workstation Version 4.0リソースキット』





はじめに

このマニュアルは、本機にインストールされているアプリケーション、添付されているアプリケーションの削除 / 追加再セットアップの方法、さまざまなトラブルの解決対応方法を説明しています。

インストールアプリケーションについてはお客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様に併せてお読みください。なお、選択できる項目は今後増える可能性があります。

型番と機能仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART4 付録」をご覧ください。

1998 年 5 月 初版

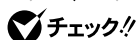
このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



トラブル事例を示しています。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NX (Windows NT 4.0インストール) 本機がどのモデルに該当するかは型番を調べれば分かります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』と『活用ガイドハードウェア編』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないIPC98-NX シリーズ Mate NX(Windows NT 4.0インストール)を指します。
アプリケーションなしモデル	Windows NT 4.0のみがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです
一太郎モデル	一太郎8 Office Edition/R.2が、インストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎Office8	一太郎Office8/R.3、一太郎8/レビューバックプラス(添付)
Wordモデル	Word 98、Excel 97、Outlook™97がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
Word & Excel	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™97 for Windows®、Outlook™98 バージョンアップCD-ROM(添付)、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic(添付)

「スタート」ボタン→ 「設定」→ 「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows NT、 Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows NT Server 4.0	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
一太郎8	一太郎8 Office Edition / R.2
Excel, Word, Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™97 for Windows®, Outlook™98 バージョンアップCD-ROM (添付)
ESMPROクライアント ライセンス	ESMPRO/Client Manager Ver2.0/Ver2.1、 ESMPRO/Delivery Manager Ver4.0/Ver4.1/Ver5.0(ライセンスFD)
Internet Explorer 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95/Windows NT® 4.0 日本語版
Internet Explorer 3.02	Microsoft® Internet Explorer 3.02 for Windows® 95/Windows NT® 4.0 日本語版

このマニュアルで使用している画面

- ・ このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。
-

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows NT Workstation 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindows NTのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

一太郎、ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、これにかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

RIVA128は、SGS THOMSON Microelectronics, Inc. の登録商標です。

CIRRUS LOGICは、米国シーラスロジック社の登録商標です。

PERMEDIAは、米国3Dlabs社の登録商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

pcANYWHERE32は、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などをおこなうことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はおこなっておりません。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加

各アプリケーションソフトウェアの概要と削除及び追加の方法について説明しています。

PART2 再セットアップするには

本機に添付されている「バックアップ CD-ROM (OS を除く) 用インストールディスク」や「バックアップ CD-ROM (OS を除く)」を使って、本機のシステムやアプリケーションを出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

PART3 他の OS を利用する

Windows NT Server 4.0 日本語版をセットアップする手順について説明しています。

PART4 トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	iv
このマニュアルの構成	v
目次(このページです)	vi
索引	x

アプリケーションの概要と削除/追加 1

この章の構成	2
ヘルプについて	2
概要について	2
削除について	2
追加について	4
「Microsoft Windows NT4.0 日本語版Service Pack 3」について	5
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	6
一太郎Office8(一太郎モデルのみ)	7
概要	7
削除	8
追加	10
Word 98/Excel 97/Outlook 97(Word モデルのみ)	12
概要	12
削除	13
追加	14
Internet Explorer 4.01	16
概要	16
削除	17
追加	19
最新のコンポーネントを追加する	21
その他	21
Outlook Express(Mail&News)	22
概要	22
削除	22
追加	23

Microsoft NetMeeting	24
概要	24
削除	24
追加	25
Internet Explorer 3.02	26
概要	26
削除	26
追加	28
VirusScan for Windows NT	29
概要	29
削除	31
追加	31
DMITool	32
概要	32
削除	33
追加	36
pcANYWHERE32 EX	37
概要	37
削除	37
追加	38
Masty Data Backup	40
概要	40
削除	41
追加	42
Timer-NX	43
概要	43
リモートパワーオン機能の設定を行う	44
タイマ機能の設定を行う	45
リング機能の設定を行う	48
オフタイマ機能の設定を行う	50
削除	51

PART

2

追加	52
NEC Soft MPEG1.0	53
概要	53
削除	54
追加	55

再セットアップするには 57

再セットアップについて	58
再セットアップが必要になるとき	58
システムの修復方法について	58
システムを修復する	59
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する	59
「Windows NTセットアップの修復」 を使用してシステムを修復する	60
Windows NT 4.0を再セットアップする	62
再セットアップする前に	62
再セットアップする	64

PART

3

他のOSを利用する 77

Windows NT Server 4.0を利用する	78
Windows NT Server 4.0のセットアップ	79

PART

4

トラブル解決 Q&A 89

トラブルが起きたとき	90
トラブルを解決するには	91
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート).....	93
はじめて電源を入れたら・・・	95
電源を入れたが・・・	97
電源を切ろうとしたが・・・	103
サスペンド/レジューム機能を使おうとしたら・・・	104
パソコンがこわれそう・・・	105
画面がおかしい・・・	107
ファイル、フォルダがおかしい・・・	108

音がおかしい・・・	111
マウスを動かしても・・・	112
文字を入力しようとしたら...	114
ファイルを保存しようとしたら・・・	118
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら・・・	120
印刷しようとしたら・・・	122
フロッピーディスクを使っていたら・・・	124
ハードディスクを使っていたら・・・	127
CD-ROMを使っていたら・・・	132
周辺機器を取り付けようとしたら・・・	135
メモリが足りない、増やしたい・・・	137
アプリケーションを使っていたら・・・	138
日付の設定を変えようとしたら・・・	141
コンピュータウイルス対策について	142
その他	145
アフターケアについて	147

索引

ページ太字: 語句、作業のあるページを指します。

ページ細字: 図や文章に出てくるページを指します。

英数字

「_」(アンダースコア、アンダーバー)

..... 116

「_」(チルダ) 116

1Gバイト 131

1Mバイト 131

2000年問題 145

98AP情報 145

Administrator権限 71

BIOSセットアップユーティリティ ... 104

BIOSブラウザ 34

CD-ROM 2, 118, 132

Checking file system on X: 99

CHKDSK 95

CRT 98

DMITool 32

DMTF 32

Excel 97 12

FATファイルシステム 67

FAXモデムボードセット 50

FrontPage Express 18

FullBand 7

Internet Explorer 3.02 26

Internet Explorer 4.01 ... 16, 24, 25, 26

IPA 144

LAN 120

Mail & News 22

Masty Data Backup 40, 41, 42

MIFブラウザ 32

MOディスク 118

MPEG1ファイル 53

MS-DOS 119

Music Control 17

NetMeeting 17, 24

Non-System disk 95

NTFSファイルシステム 67

OS 140

Outlook 97 12

Outlook Express 18, 22

pcANYWHERE32 EX 37

PCIボード 135

PDディスク 118

PDドライブ 2

PK-CA101 135

PK-CA102 135

PK-UG-X001 50

PK-UG-X006 68, 83

Power Chute PLUS 100

Readme 92

RGBケーブル	97
RS-232C変換アダプタ	135
S.M.A.R.T	40
Service Pack 3	78
Setup Disk	62
Soft MPEG1.0	53
TEMPフォルダ	128
Timer-NX	43, 100
VDOLivePlayer	17
VirusScan for Windows NT	29
Web発行ウィザード 1.51	17
Windows 3.1	119
Windows NT Server 4.0	78
Windows NTセットアップの修復	60
Windows デスクトップのアップデート	
コンポーネント	18
Word 98	12
WWW Extension	32
Zipディスク	118

ア行

アイコン削除	3
空き容量	118
アフターケア	147
アプリケーション	138
異臭	105
異常	105, 111
一太郎Office8	7
印刷	122
インストール	139

インターネット接続ウィザード	18
ウイルス	142
ウイルス監視機能	30
エラーメッセージ	100
大文字	115
音	111
音飛び	132

カ行

海外	146
拡張子	109
画面	98, 99, 107
画面を印刷	145
漢字	116
キーボード	66, 114
記号	116
起動しない	100
休眠ファイル	34
強制終了の方法	112
強制的に電源を切る方法	103
共有	121
煙	105
構成の回復メニュー	59
コマンドプロンプト画面	107
ごみ箱	108, 128
小文字	115
コンピュータウイルス	142

サ行

再セットアップ	58, 62
---------	--------

再入手方法	149
削除について	2
削除の準備	3
サスペンド	104
雑音	146
三四郎8	7
時刻	141
システム修復ディスク	60
システムの修復方法	58
システムビューア	32
自動電源ONタイマ	45
修復	149
周辺機器	135
消磁	98
状態監視	32
消耗品	148
消耗部品	148
シリアル機器	135
スーパーバイザーパスワード	102
砂時計	112, 114
スピーカ	111
スリープボタン	104
西暦2000年問題	145
添付品	149
組織名	96

夕行

タイマ機能	43
断続音	100
追加について	4

追加の準備	4
ディスプレイ	98
デガウス	98
デバイス	127
電源	95, 97
問い合わせ	92
動画がとぎれる	133
ドライバのアップデート	71
ドライブ構成	131
トラブルチェックシート	93

ナ行

内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ	73
長いファイル名	109, 119
名前	96
日本語入力	116
入力できない文字	116
ネットワーク	120
ネットワークのインストール	68

ハ行

ハードウェアプロファイル	59
ハードディスク	118, 127
廃棄	146
ハウリング	111
パスワード	101
バックアップ	40
バックアップCD-ROM	62
被害届	144

日付	141
表示位置	107
ひらがな	116
ファイル	108, 118
ファイルを保存	118
フォーマット	96
フォルダ	108
フリーズ	91
プリンタ	122
プリンタインターフェース変換アダプタ	135
プリンタドライバ	122
フルカラー	139
フルスクリーン	107
フロッピーディスク	118, 124
ヘルプ	2, 92
補修性能部品	148
保守サービス	147

マ行

マウス	112
メモリ	137
文字	114
文字コード表	116

ヤ行

ユーザーパスワード	102
-----------------	-----

ラ行

ライトプロテクト	118
----------------	-----

リモート電源制御	32
リモートパワーオン機能	32
リング機能	43
レジューム	104
ログオン	101

ワ行

割り込みレベル	101, 136
---------------	----------

アプリケーションの概要 と削除 / 追加

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要と削除方法および追加方法について説明します。削除や追加をする場合、Windows NT Workstationおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

この章の内容

この章の構成	2	Microsoft NetMeeting	24
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	6	Internet Explorer 3.02	26
一太郎 Office8	6	VirusScan for Windows NT	29
(一太郎モデルのみ)	7	DMITool	32
Word 98/Excel 97/Outlook 97	12	pcANYWHERE32 EX	37
(Word モデルのみ)	12	Masty Data Backup	40
Internet Explorer 4.01	16	Timer-NX	43
Outlook Express (Mail & News)	22	NEC Soft MPEG1.0	53

この章の構成

この章では各アプリケーションの概要と削除、追加について説明します。

- ✓ **チェック!!** ・各アプリケーションの削除と追加は、必ず Administrator 権限を持ったユーザーでログインして行ってください。
- ・再セットアップの後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は必ず Windows NT の再起動後に行ってください。
- ・各アプリケーションの削除と追加を行う前に、必ず「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をお読みください。
- ・MA40D/M (PD 搭載モデル) でお使いの PD ドライブは、Windows NT 4.0 上でリムーバブルディスクドライブと CD-ROM ドライブの 2 つのドライブとして表示されます。CD-ROM をセットしたドライブを指定するときは、CD-ROM ドライブ名を指定してください。

ヘルプについて

- ✓ **チェック!!** ・各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
- ・用語、操作の方法や手順など、分からないことがおきたときに活用します。

ヘルプの起動方法

- 1 各アプリケーションの「メニューバー」にある「ヘルプ」をクリック「ヘルプ」が表示されます。

概要について

- ・アプリケーションの起動方法、主画面などについて概略を説明します。

削除について

- ・本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後インストールされた本機添付のアプリケーションの削除の手順を説明します。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。

- ・ 次のような場合にアプリケーションを削除してください。
ハードディスクの空き容量を増やしたい場合。
通常使わないアプリケーションがある場合。
- ・ 一部のアプリケーションでは、次の「削除の準備」を行ってから削除します。

**チェック!!**

- ・ 削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
- ・ CD-ROM を使用して削除する場合は、終了後に CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

削除の準備

- ・ コントロールパネルを使って削除する場合は、以下の手順を行ってください。
- ・ CD-ROM を使用する場合は、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

1 Windows NT を起動する

2 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「コントロールパネル」をクリック

3 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

この後、各アプリケーションの削除方法でアプリケーションを削除してください。

**チェック!!**

- ・ 削除したとき、アプリケーションによってはディレクトリおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・ アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法にしたがって操作してください。

アイコン削除の準備

- ・ アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」をクリック
- 2 「表示」→「フォルダオプション」(Internet Exploer 3.02 をご利用の場合は「オプション」)をクリック
- 3 「表示」タブをクリックし、「すべてのファイルを表示する」をクリックして  (オン)にする
- 4 「OK」ボタンをクリック
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

- ・添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」から、本機にアプリケーションを追加する場合の手順を説明します。
- ・一部のアプリケーションでは、下記の「追加の準備」を行ってから追加します。

 **チェック!!** 終了後にCD-ROM をCD-ROM ドライブから取り出してください。

追加の準備

- 1 Windows NT を起動
- 2 CD-ROMドライブに、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセット
- 3 フロッピーディスクドライブに、添付の「バックアップ CD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」をセット
- 4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 5 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 6 「インストールと削除」タブの「インストール」ボタンをクリック

7 「次へ」ボタンをクリック

「A:\\$NXSETUP.exe」が表示されていることを確認します。

8 「完了」ボタンをクリック

追加するアプリケーションが表示されていることを確認します。

この後、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションを追加してください。

「Microsoft Windows NT4.0 日本語版 Service Pack 3」について

本機には「Microsoft® Windows NT® 4.0 日本語版 Service Pack 3」(以下 Service Pack 3)がインストールされています。

新しいコンポーネント(ドライバ等)を追加または変更した場合は、再度 Service Pack 3 をインストールする必要があります。

Service Pack 3 を再追加する場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack 3」の「Service Pack 3 のインストール」をクリック
- 2 Service Pack 3 のインストール画面が表示されますので、「インストール」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従って Service Pack 3 のインストールと「本機対応 Windows NT 4.0 アップデート」を行う
- 4 ファイルコピー中に「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択。
- 5 Service Pack 3 のインストールと「本機対応 Windows NT 4.0 アップデート」が完了したら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

詳細は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack 3」→「Service Pack 3 について」をご覧ください。

知っておきたい便利な機能とアプリケーション

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション	
文章を作成する	○	Word 98・一太郎 8	()
HTMLを作成する	○	Word 98・一太郎 8	()
表計算する	○	Excel 97・三四郎 8	()
予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 社内にメールを発信する	○	Outlook 97・FullBand	()
インターネットへ接続する ソフトをダウンロードする 電子メールを送受信する インターネットの情報を管理する	○	Internet Explorer4.01 または 3.02 (セットアップ時に選択)	
コンピュータウィルスを検出して 除去する		VirusScan for Windows NT	
遠隔地からパソコンを操作する		pcANYWHERE32 EX	
本機や本機に接続されているパソコンの情報を管理する		DMITool	
データのバックアップをとる		Masty Data Backup	

○ : 工場出荷時にインストールされているソフト(()はモデルにより異なります)
 : 工場出荷時に添付されているソフト

一太郎 Office 8 (一太郎モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎8、表計算に三四郎8、情報管理にFullBandを使用します。

起動方法

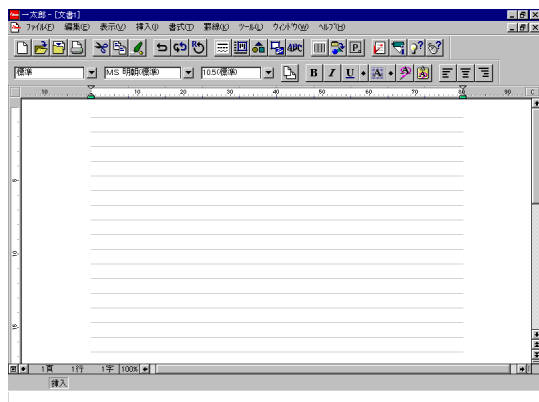
ここでは一太郎8で説明しています。三四郎8とFullBandは本文中の「一太郎8」をそれぞれに読み換えてください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEM アプリケーション」の「一太郎8(三四郎8/FullBand)」をクリック
一太郎8(三四郎8/FullBand)のウィンドウが表示されます。

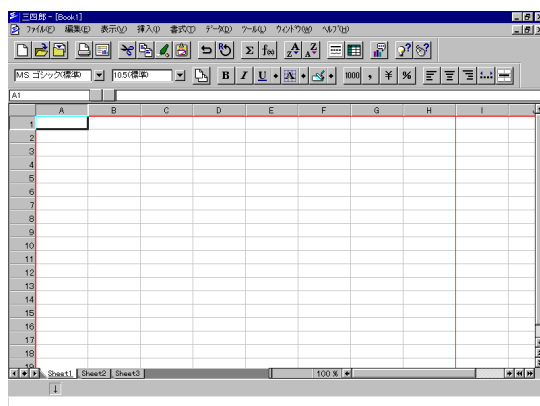
初回の起動時には「使用許諾契約の確認」「使用者名、法人名の登録」「シリアルナンバー・User ID の登録」画面が表示されます。

主画面

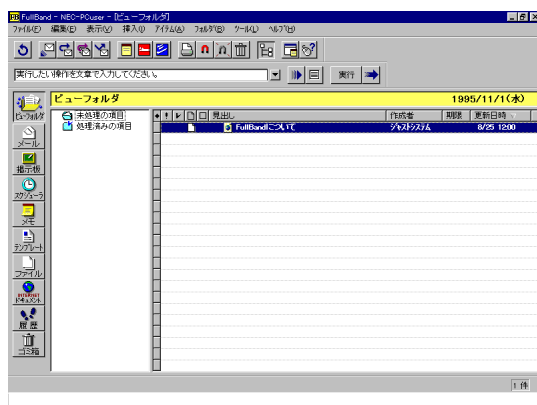
一太郎8の初期ウィンドウ



三四郎 8 の初期ウィンドウ



FullBand の初期ウィンドウ



削除

一太郎8が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐解除の方法は添付の一太郎 Office マニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備」の手順 1 ～ 3 を実行(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEM アプリケーションの追加と削除」をクリック(反転表示)し「追加と削除」ボタンをクリック

- 3 「一太郎Office8のセットアップ開始」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「一太郎Office8の追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選び「次へ」ボタンをクリック
- 5 「一太郎Office8のファイルを追加・削除します」で「ファイルの削除」を選び「次へ」ボタンをクリック
- 6 「削除するファイルを選択します」が表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリック
- 8 「ATOK11をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 9 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 10 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 11 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 12 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 13 「一太郎Office8のセットアップ終了」で「再起動」ボタンをクリック

**チェック!!**

この手順で削除すると、「JUSTSYSTEM インターネットツール」「JUSTSYSTEM ツール&ユーティリティ」「JUSTSYSTEM 一太郎 office」が残ります。一太郎8以外にジャストシステム製アプリケーションを使用していない場合、すべての機能を削除するには、手順7で「削除する」ボタンをクリックしてください。

追加

- 1 CD-ROM ドライブに「一太郎 Office8 CD-ROM」をセットする
- 2 「Welcome to JUSTSYSTEM」で「SETUP」をクリック
- 3 「一太郎 Office8 のセットアップ」で「セットアップ開始」ボタンをクリック
- 4 「使用許諾契約の確認」で「確認」ボタンをクリック
- 5 「一太郎 Office8 のセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリック
- 6 「使用者名・法人名を登録します」が表示されたら必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 7 「シリアルナンバー・UserIDを登録します」と表示されたら入力して「次へ」ボタンをクリック
- 8 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」ボタンをクリック
- 9 「セットアップ方法を選択します」が表示されます。ここでは「標準」を選び「次へ」ボタンをクリック
- 10 「標準モードでセットアップすると...」で「次へ」ボタンをクリック
- 11 「セットアップするフォルダを設定します」で「次へ」ボタンをクリック
- 12 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 13 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか？」で「いいえ」を選び「OK」ボタンをクリック

14 「JustNet に入会するには」で「確認」ボタンをクリック

15 「一太郎Office8セットアップ終了」と表示されたら「再起動」ボタンをクリック



この手順で追加すると、「スタート」メニュー→「アプリケーション」→「スタートアップ」に「office 8スタートバー」が自動的に登録され、起動時に「office 8スタートバー」が表示されます。

Word 98/Excel 97/Outlook 97 (Word モデルのみ)

概要

文章作成にWord 98、表計算にExcel 97、情報管理にOutlook 97を使用します。

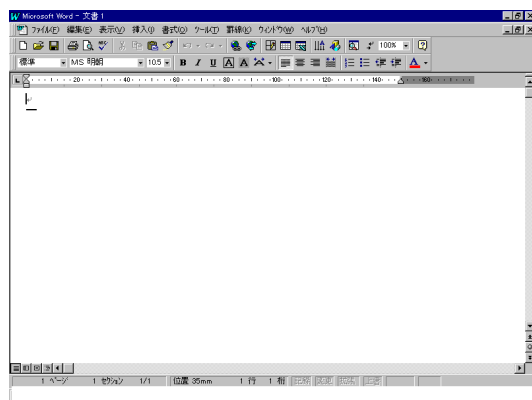
起動方法

ここではWord 98 で説明しています。Excel 97 とOutlook 97 は本文中の「Word 98」をそれぞれ読み換えてください。

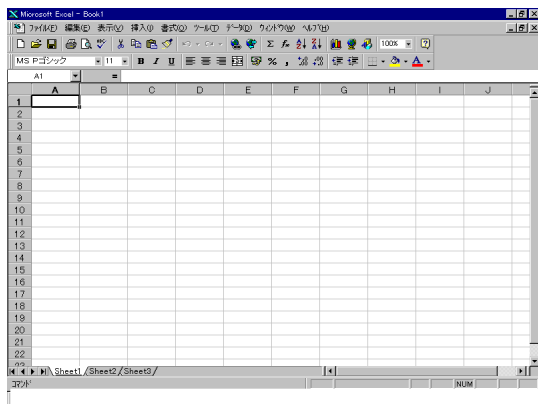
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Microsoft Word (Excel/Outlook)」をクリック
Word (Excel/Outlook) のウィンドウが表示されます。

主画面

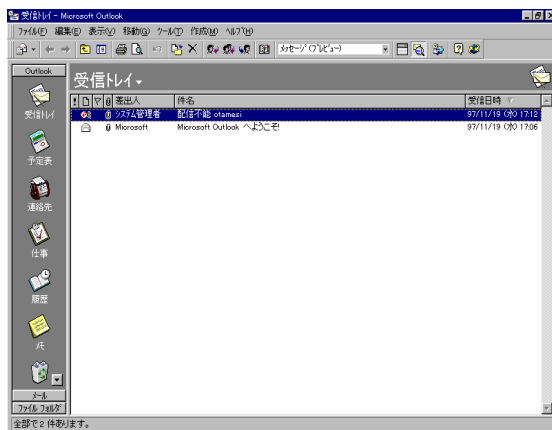
Word 98 の初期ウィンドウ



Excel 97 の初期ウィンドウ



Outlook 97 の初期ウィンドウ



削除

ここではWord 98 で説明しています。Excel 97 とOutlook 97 は本文中の「Word 98」をそれぞれに読み換えてください。

- 1 Windows NT を起動して「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM をCD-ROM ドライブにセット

- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Microsoft Word 98 (Excel 97/Outlook 97) のセットアップ」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Word 98 (Excel 97/Outlook 97) セットアップ」で「すべて削除」をクリック
- 4 「Microsoft Word 98 (Excel 97/Outlook 97) を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

✓ **チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

- 5 「Microsoft Word 98 (Excel 97/Outlook 97) のセットアップが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
再起動のメッセージが表示されたら「再起動」をクリックします。

✓ **チェック!!** デスクトップに「Microsoft Word 98 (Excel 97/Outlook 97)」のアイコンが残った場合は、以下のファイルを削除します。
C:\Winnt\Profiles\All Users\デスクトップ\Microsoft Word (Excel / Outlook)

追加

ここではWord 98 で説明しています。Excel 97 とOutlook 97 は本文中の「Word 98」をそれぞれに読み換えてください。

- 1 Windows NT を起動し、CD-ROM ドライブに「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97」の CD-ROM をセット
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Microsoft Word 98 のセットアップ」ボタンをクリック

- 3 「Microsoft Word 98 セットアップ」が表示されたら「継続」ボタンをクリック
- 4 「ユーザー情報の登録」で必要事項を入力し「OK」ボタンをクリック
- 5 「ユーザー情報の確認」で「OK」ボタンをクリック
- 6 プロダクト ID 番号が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 7 「Microsoft Word 98を次のフォルダにセットアップします」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 8 セットアップ方法の選択で、「標準セットアップ」、「カスタムセットアップ」いずれかを選ぶ。ここでは「標準セットアップ」ボタンをクリック
- 9 「標準セットアップ」が表示されたら「継続」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 10 「Microsoft Word 98セットアップが終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 11 「Microsoft Word」のアイコンをデスクトップに作成
 デスクトップ画面上でマウスを右クリックし、「新規作成」→「ショートカット」を選ぶ
 「ショートカットの作成」画面で「参照」ボタンをクリック
 「ファイルの参照」画面で、「Program Files」→「Microsoft Office」→「Microsoft Word」の順にダブルクリック
 「ファイルの参照」画面に戻ったら、「次へ」ボタンをクリック
 「名前の指定」画面で、「完了」ボタンをクリック

デスクトップに Word のアイコンが表示されます。



Outlookのアイコンは、Outlookインストール後自動的に作成されません。



Internet Explorer 4.01

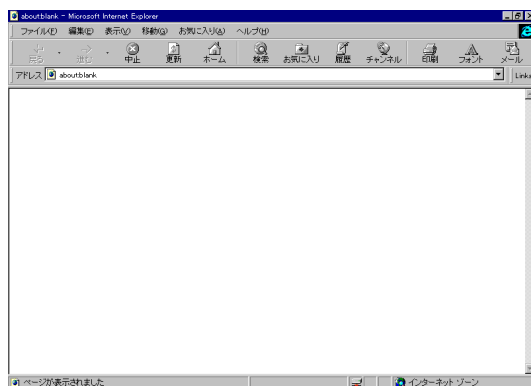
概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリック

主画面



- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.3)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリック
- 4 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0 と次のコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリックし、削除するコンポーネントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリック

Microsoft FrontPage Express

Microsoft Music Control

Microsoft NetMeeting 2.1

Microsoft Outlook Express

Microsoft Web 発行ウィザード 1.51

RunDll32 advpack.dll LaunchINFSection C:\WINNT\INF
VDOLivePlayer

- 5 「Internet Explorer 4.0 と共有コンポーネントを削除するには、「OK」をクリックしてください」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Internet Explorer 4.0 を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。削除には数分かかります。
- 7 「セットアップを完了するにはWindowsを再起動する必要があります」と表示されたら「Windows の再起動」ボタンをクリック

8 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理してるものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリック

9 再起動後、「警告」画面が表示される場合があります。Active Movieをご使用になる場合は「はい」ボタンを、その他のデバイスドライバをご使用になる場合は「いいえ」ボタンをクリック

 **チェック!!** Internet Explorer 4.0を削除して再起動時に「W:¥にアクセスできません。このフォルダは、移動または削除されました。」と表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックして次へ進んでください。システムには影響ありません。

10 複数のユーザを登録している場合、次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」「いいえ」ボタンをクリック

Microsoft Internet Explorer 4.0

Outlook Express

Microsoft NetMeeting 2.1

VDOLive Player

インターネット接続ウィザード

Windows デスクトップのアップデートコンポーネント

Microsoft FrontPage Express

追加

工場出荷時の状態で再追加する場合

- 1 「追加の準備」の手順 1 ～ 8 を実行 (P.4)
- 2 「Internet Explorer 4.01」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従う
- 4 インストール完了後、自動で再起動する

Internet Explorer 4.01 をカスタマイズして追加する場合

- 1 「追加の準備」の手順 1 ～ 8 を実行 (P.4)
- 2 「Internet Explorer 4.01(カスタムセットアップ)」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従う
- 4 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「次へ」ボタンをクリック
- 5 使用許諾契約書が表示されます。「同意する」にチェックマークを付け「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストールオプション」で「最少インストール」「標準インストール」「完全インストール」から選び「次へ」ボタンをクリック



最少インストール

Internet Explorer 4.01 Web ブラウザおよびマルチメディア拡張機能がインストールされます。

標準インストール

Internet Explorer 4.01Web ブラウザ、Microsoft Outlook Express および
マルチメディア拡張機能がインストールされます。

完全インストール

工場出荷時の状態に戻ります。

7 デスクトップのアップデートで「インストールしますか?」が表示された場合は、「はい」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

8 「Active Channel」を選択するメッセージウィンドウが表示された場合は、「日本」を選び「次へ」ボタンをクリックする

9 「インストール先フォルダ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「フォルダの参照」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

10 「すべてのコンポーネントを再インストールしますか?」が表示されたら「すべてのコンポーネントを再インストール」にチェックを付け「OK」ボタンをクリック
インストールが始まります。インストールには10 数分かかります

11 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

チェック!! CD-ROM はまだ取り出さないでください。

12 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリック

13 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら 「OK」ボタンをクリック 自動的に再起動されます。

Internet Explorer 4.01 関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定がおこなわれます。この間数分かかります。
セットアップ完了後、CD-ROM を取り出します。

最新のコンポーネントを追加する

Internet Explorer 4.01に最新のコンポーネントを追加するには、以下のいずれかの手順でインストールします。いずれの手順も同じWeb サイトにつなげて、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします。(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- ・Internet Explorer 4.01 の「ヘルプ」→「製品更新」で追加。
- ・アプリケーションの追加と削除で、Internet Explorer 4.01 を指定し、「コンポーネントを Internet Explorer に追加する」で追加。

上記手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)の詳細は以下の URL を参照してください。

http://www.microsoft.com/ie_intl/ja/ie40/download/rtw/x86/ja/download/addon95.htm

その他

Internet Explorer 4.01を「完全インストール」すると、次のコンポーネントも追加されます。

これらのコンポーネントを削除するには「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で行ってください。

- ・Outlook Express (Mail & News)
- ・Microsoft NetMeeting
- ・Microsoft Chat 2.0
- ・Microsoft NetShow Player 2.0
- ・RealPlayer 4.0



Outlook Express (Mail & News)

概要

電子メールを送受信したり、インターネットニュースを見ることができます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリック
「Outlook Express」のウィンドウが表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を実行 (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Outlook Express」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Outlook Express をアンインストールします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「Outlook Express は正常にアンインストールされました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

✓ **チェック!!** Internet Explorer 4.01 を完全に削除している場合は、Outlook Express も削除されています。

- 1 Internet Explorer 4.01 の追加の Internet Explorer 4.01 をカスタマイズして追加する場合 の手順 1 ～ 9 を実行 (P.19)

☑ チェック!! 手順 6 で「完全インストール」を選んでください。

- 2 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」が表示されたら「更新された項目のみアップグレード」にチェックを付け「OK」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 3 「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック



Microsoft NetMeeting

概要

インターネットを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Internet Explorer」 → 「Microsoft NetMeeting」をクリック
Microsoft NetMeeting のウィンドウが表示されます。

削除

✓ **チェック!!** Internet Explorer 4.01を完全に削除している場合は、Microsoft NetMeeting も削除されています。

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を実行 (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft NetMeeting 2.1」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft NetMeeting を削除します。よろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「Microsoft NetMeeting は削除されました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

- 5 ¥Winnt¥Profiles ディレクトリ内の各ユーザー名の “ スタートメニュー プログラム ” ディレクトリの “ Internet Explorer ” ディレクトリ及び “ アクセサリ¥¥¥¥¥¥ ” ディレクトリの中に不要なショートカットファイルが残る場合がありますが、動作には問題ありません。削除してください。

追加

- 1 Internet Explorer 4.01 の再追加の Internet Explorer 4.01 をカスタマイズして追加する場合 の手順 1 ~ 9 を実行 (P.19)

✓ チェック!! 手順 6 で「完全インストール」を選んでください。

- 2 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」が表示されたら「更新された項目のみアップグレード」にチェックを付け「OK」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 3 「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

Internet Explorer 3.02

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「インターネットエクスプローラ」をクリック

削除

- ✓ **チェック!!** Internet Explorer 3.02は、Internet Explorer 4.01を削除した後でないと、削除できません。

インターネットエクスプローラ 3.02 を削除する場合

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を実行 (P.3)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Internet Explorer 3.02」をクリック(反転表示)して、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従い、削除を行う
- 4 削除終了後、削除したユーザと異なるユーザでログインした場合に、スタートメニューにアイコンが残るので、以下のファイルを削除

他の全ユーザ名 には、他のユーザのログイン名を指定。全てのユーザに対して行う

- ・C:\Winnt\Profiles\Default User\スタートメニュー\プログラム\インターネットエクスプローラ
- ・C:\Winnt\Profiles\<他の全ユーザ名>\スタートメニュー\プログラム\インターネットエクスプローラ

Internet Mail and News 1.0 を削除する場合

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を実行(P.3)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Internet Mail and News 1.0」をクリック(反転表示)して、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従い、削除を行う
- 4 削除終了後、削除したユーザと異なるユーザでログインした場合に、スタートメニューにアイコンが残るので、以下のファイルを削除
 <他の全ユーザ名>には、他のユーザのログイン名を指定。全てのユーザに対して行う。
 - ・C:¥Winnt¥Profiles¥Default User¥スタートメニュー¥プログラム¥Internet Mail
 - ・C:¥Winnt¥Profiles¥Default User¥スタートメニュー¥プログラム¥Internet News
 - ・C:¥Winnt¥Profiles¥Default User ¥スタートメニュー¥プログラム¥Windows アドレス帳
 - ・C:¥Winnt¥Profiles¥<他のユーザ名>¥スタートメニュー¥プログラム¥Internet Mail
 - ・C:¥Winnt¥Profiles¥<他のユーザ名>¥スタートメニュー¥プログラム¥Internet News
 - ・C:¥Winnt¥Profiles¥<他のユーザ名>¥スタートメニュー¥プログラム¥Windows アドレス帳

ActiveMovie を削除する場合

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を実行(P.3)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Microsoft ActiveMovie」をクリック(反転表示)して、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 画面の表示に従い、削除を行う
- 4 削除終了後、削除したユーザと異なるユーザでログインした場合

に、スタートメニューにアイコンが残るので、以下のファイルを削除
<他のユーザ名>には、他のユーザのログイン名を指定、全てのユーザ
に対して行う

- ・C:\Winnt\Profiles\Default User\スタートメニュー\プログラム\アクセサリ\マルチメディア\ActiveMovieコントロール
- ・C:\Winnt\Profiles\Default User\スタートメニュー\プログラム\アクセサリ\マルチメディア\ActiveMovie のファイルの種類
- ・C:\Winnt \ Profiles\<他の全ユーザ名>\スタートメニュー\プログラム\アクセサリ\マルチメディア\ActiveMovieコントロール
- ・C:\Winnt\Profiles\<他の全ユーザ名>\スタートメニュー\プログラム\アクセサリ\マルチメディア\ActiveMovie のファイルの種類

追加

- 1 「追加の準備」の手順 1 ~ 8 を実行(P.4)
- 2 「Internet Explorer 3.02」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
インストール中に、「ファイルの上書きの確認」が表示された場合は、「すべて上書きしない」をクリック
- 3 画面の指示に従う

Internet Explorer 3.02 を追加することにより、オプションで次のコンポーネントが追加できます。

- ・Internet Mail and News 1.0
- ・Microsoft ActiveMovie
- ・HIML Layout control

 **チェック!!** 再起動後、「ファイルの種類をActiveMovieに関連付けて再生する」のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。

VirusScan for Windows NT

概要

コンピュータウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART4 トラブル解決 Q&A」の「コンピュータウイルス対策について」をご覧ください、対処してください。

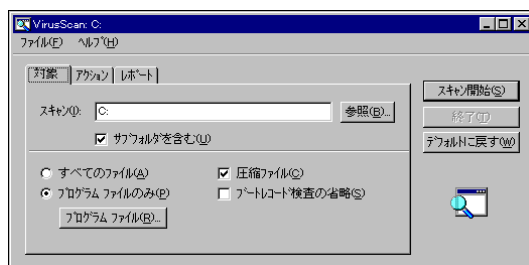
✓ **チェック!!** VirusScan for Windows NT は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧くださいになりセットアップを行ってください。

起動方法

VirusScanには、定期的にウイルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、以下の手順で、VirusScan コンソールを起動します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan NT」の「VirusScan」をクリック
プログラムが起動し、VirusScan のウィンドウが表示されます。

主画面



- 1 定期検査用のタスクを作成する
タスクの作成方法は、オンラインヘルプを参照してください。

VirusScan には、Windows 上で操作するファイルがウイルスに感染されていないか監視する機能があります。
ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

ウイルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan NT」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「McAfee VirusScan NT」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 VirusScan プロパティの「検出」タグの「情報」、「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークをはずす
- 4 VirusScan プロパティの「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 コンピュータを再起動する

ウイルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan NT」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「McAfee VirusScan NT」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 VirusScan プロパティの「検出」タグの「情報」、「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークを付ける
- 4 VirusScan プロパティの「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 コンピュータを再起動する

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ～ 3 を実行 (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan NT v3.02 (プリインストール版)」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「VirusScan の削除が選択されました、本当にVirusScan NT を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 4 「削除後にシステムを再起動することをおすすめします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 5 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 6 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 7 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 8 コンピュータを再起動する

追加

- 1 「追加の準備」の手順 1 ～ 8 を実行 (P.4)
- 2 「McAfee Virus Scan」をクリックして選択し「インストール」ボタンをクリック
- 3 以降の作業は画面の指示に従う

追加後はウイルス監視機能 (VirusShield) が有効になります。
ウイルス監視機能を無効にする場合は、本項の「概要」を参照してください。



DMITool

概要

DMIToolは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトです。管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。

DMITool は以下の5つの機能により構成されます。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIF ブラウザ
- ・リモート電源制御(リモートパワーオン機能)
- ・WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細についてはオンラインヘルプおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。



チェック!!

- ・DMIToolは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧になりセットアップを行ってください。
- ・本機がネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットの送信を行いたくない場合は注意が必要です。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

DMITool の起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Dmitool」の中から利用したい機能をクリック
選んだ機能の画面が表示されます。

システムビュー画面



注) 表示されるシステムビュー画面は機種によって異なります。

削除

DMITool WWW Extension をセットアップしていない場合には、手順の 7 から始めてください

- 1 PWS ("Microsoft Peer Web Service") を停止する
- 2 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を行う(P.3)
- 3 「DMITool WWW Extension」をクリック(反転表示)して、
「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 DMITool WWW Extension 常駐プログラム終了を確認する
画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック

- 5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 6 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリック
これでDMITool WWW Extension プログラムの削除が開始されます。
- 7 DMITool 関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する
次のアプリケーションが DMITool 関連のアプリケーションです。
 - ・システムビューア
 - ・状態監視
 - ・システムヘルス
 - ・リモートビューア
 - ・MIF ブラウザ
 - ・BIOS ブラウザ
 - ・リモート電源制御
 - ・休眠ファイル
- 8 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を行う(P.3)
- 9 「セットアップと削除」画面の一覧から「DMITool」をクリック
(反転表示)して、「追加と削除」ボタンをクリック
- 10 DMITool 常駐プログラムの終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 11 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリック
これでプログラムの削除が開始されます。

 **チェック!!** 「いいえ」を選び、削除を中断した場合には、システムを再起動してから DMITool を使用してください。

- 12** 削除を開始してまもなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されるので、「すべていいえ」ボタンをクリック
- 13** 「コンピュータからプログラムを削除」の画面が表示され、画面にアンインストール完了の旨が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 14** 「リブート」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック自動的に再起動します。

追加

✓チェック!! DMITOOL の追加は、Administrator 権限でログオンして行ってください。

- 1 「追加の準備」の手順 1 ~ 8 を実行 (P.4)
- 2 「DMITool」をクリック (反転表示) して選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 DMITool セットアップの説明画面が表示されるので、指示に従い「次へ」ボタンをクリック
「登録」の画面が表示されます。
- 4 「登録」の画面が表示されたら、あなたの名前と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリック
- 5 「起動モード」の画面が表示されたら起動モードを選択して「次へ」ボタンをクリック
プログラムのインストールが開始されます。

✓チェック!! 通常、初期設定のままインストールを行ってください。「起動モード」は「コントロールパネル」の「DMITool」で変更可能です。「起動モード」の詳細な説明は、インストール後「ご使用になる前に」(Readme.txt)を参照してください。

- 6 「情報」が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを抜く
- 8 本機を再起動する

pcANYWHERE32 EX

概要

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面をそのまま表示し、遠隔地から本機を自由に操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。

- ✓ **チェック!!**
- ・pcANYWHERE32 EX は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧ください。
 - ・pcANYWHERE32 EX を使って、他のパソコンを操作することはできません。
 - ・接続デバイスはSPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IP が設定できます。
 - ・他のパソコンから本機を操作するには、相手のパソコンに、別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE」(Symantec 社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

「pcANYWHERE32 EX」の起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリックする

削除

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」にある「pcANYWHERE32 EX の削除」をクリック
- 2 「ファイル削除の確認」と表示されたら「はい」をボタンをクリック

- ✓ **チェック!!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「すべてはい」ボタンをクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックしてください。

3 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- ✓ **チェック!!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合、すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

4 「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐ再ブートしますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

追加

- 1** 「追加の準備」の手順 1 ~ 8 を実行 (P.4)
- 2** 「pcANYWHERE32 EX」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
画面の指示に従ってください
- 3** 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4** 「ユーザの情報」と表示されたら名前と会社名を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 5** 「オンライン使用許諾契約」と表示されたら、契約内容をよく読みになり同意の上「はい」ボタンをクリック
- 6** 「セットアップは次のフォルダにpcANYWHERE32をインストールします。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 7** 「セットアップレビュー」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。

- 8 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」にチェックされていることを確認し、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して「終了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Masty Data Backup

概要

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、Windows NT 対応の高機能バックアップツールです。

“ ハードディスクが突然クラッシュ ” この時の損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backup には次のような特徴があります。

- OS がサポートしている装置(MO、PD、HD、Zip、Jaz および TAPE など)にバックアップできます。
- 日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジュールリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T 機能を利用したバックアップができます。

 **チェック!!** Masty Data Backup は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧になりセットアップを行ってください。

起動方法

- 1** 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Masty Data Backup 1.0」 → 「Masty Data Backup 1.0」をクリック

削除

- 1 Masty Data Backup を終了させる
タスクバーの右下に時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーの Masty Data Backup を右クリックし「閉じる」を選び、終了してください。
- 2 「削除の準備」の手順 1 ～ 3 を行う(P.3)
- 3 「削除の準備」の手順 3 で「Masty Data Backup/F」を選び、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 画面の指示に従い、削除を行う

- ✓チェック!! ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows NTの登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外に Masty Data Backup にて作成されるファイルにはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

追加

- 1** 「追加の準備」の手順 1 ~ 8 を行う (P.4)
- 2** 「Masty Data Backup」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
画面の指示に従ってください
- 3** 画面の指示に従ってセットアップを行う
- 4** 「インストール先の選択」でディレクトリを変更する場合は指定する
「セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたらセットアップは終了です。

Timer-NX

概要

Timer-NX には以下の機能があります。

1. DMITOOL のリモートパワーオン機能により、LAN 接続の他のマシンから本機の電源を入れることができます。
2. タイマ機能により、指定した時刻に本機の電源を入れ、アプリケーションを起動することができます。
3. リング機能により、電話やFAX受信時に本機の電源を入れ、アプリケーションを起動することができます。
4. タイマ/リング機能とも、終了時刻を指定すると、自動的に電源を切ることができます。

Timer-NX の起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」画面が表示されます。

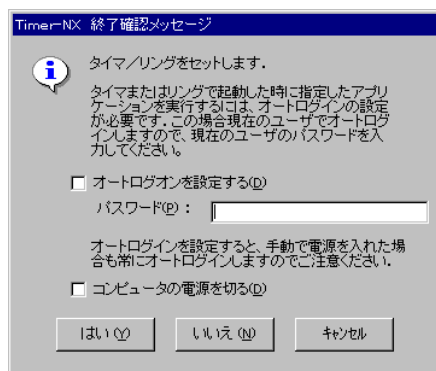


- **チェック!!** • Timer-NX は、Administrator の権限を持つユーザのみ使用することができます。
- Timer-NX により、サスペンド/レジュームすることはできません。
- Timer-NX を使用するときは、表示されている日付と時刻が正しいことを確認してください。日付と時刻が正しくないときには「コントロールパネル」の「日付と時刻」を起動して日付と時刻を設定し直してください。

リモートパワーオン機能の設定を行う

次の手順でリモートパワーオン機能を設定します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
- 2 「リングセット」ボタン(電話マークのボタン)をクリック
ボタンが黄色く表示されリングが設定されます。
- 3 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリック
「終了確認メッセージ」画面が表示されます。



- 4 オートログインを設定する場合は、「オートログインを設定する」をチェックする
パスワードには、現在ログインしているユーザのパスワードを入力する

✓ **チェック!!** 「オートログインを設定する」がチェックされていない場合、リモートパワーオンでの起動時に Windows NT のログイン画面でログイン待ちになります。



オートログインの設定を行うと、起動時 Windows NT のログイン画面での「ユーザー名」および「パスワード」の入力要求なしにログインします。

5 設定を終了

- ・Timer-NXを終了した後もコンピュータを使う場合は、「コンピュータの電源を切る」のチェックをしていない状態で、「はい」ボタンをクリックします。
- ・Timer-NXを終了した後ですぐに電源を切る場合は、「コンピュータの電源を切る」をチェックして「はい」ボタンをクリックします。
- ・「いいえ」ボタンをクリックすると、設定を廃棄してTimer-NXを終了します。
- ・「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定の画面に戻ります。



コンピュータとは本機を指します。

リモートパワーオン機能を利用するときの注意

- ・「コンピュータの電源を切る」を設定している場合、電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windows NTを終了させてください。
- ・実行ファイルを指定していてもリモートパワーオンで電源が入った場合には、指定した実行ファイルは起動しません。
- ・本機に標準で内蔵されているLANボードでは、DMIToolによるリモートパワーオン機能に対応しています。詳細についてはDMIToolの説明をご覧ください。
- ・スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードを設定している場合は「起動時確認をしない」にしてください。

タイマ機能の設定を行う

タイマ機能では、本機の自動電源ON時刻の設定 / 解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時刻を指定できます。

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Timer-NX」をクリック
- 2 「Timer-NX」画面で、自動的に電源を入れたい曜日をクリック

3 自動的に電源を入れたい時刻を設定

「Timer-NX」画面に表示されている数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時刻は24時間モードです。

4 電源を入れた時に起動したいアプリケーションを指定

「実行ファイル」ボタンをクリックするとファイルを指定する画面が表示されますので、起動したいファイルを指定してください。

 **チェック!!** 「任意指定」でプログラムファイル以外のマルチメディアファイルなどを選ぶこともできます。その場合は、関連付けるプログラムの設定を行ってください。関連付けるプログラムが設定されていないと、電源が入った時に、エラーが発生します。関連付けるプログラムの設定についてはWindows NTのヘルプをご覧ください。

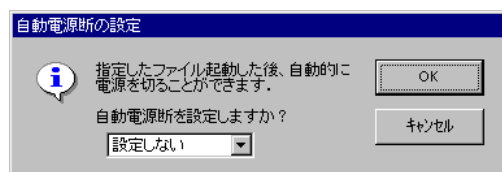
5 曜日、時刻などを設定したら、タイマセットボタンをクリック

ボタン上のアイコンが黄色く表示され、タイマが設定されます。もう一度ボタンをクリックするとボタンの色がもとに戻り、タイマが解除されます。

一度タイマを設定すると、もう一度タイマを解除しない限り、今回設定された曜日の同じ時刻に電源が入ります。

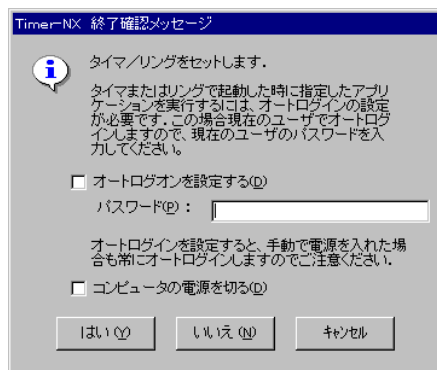
6 自動的に電源を入れた後、自動的に電源を切りたい場合は、終了時刻設定ボタンをマウスでクリック

次の画面が表示されます。



30分間隔で終了時刻を設定します。自動的に電源を入れた後、設定した時刻が経過すると電源が切れます。

7 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリック 「終了確認メッセージ」画面が表示されます。



8 オートログインを設定する場合は、「オートログインを設定する」を チェックする パスワードには、現在ログインしているユーザのパスワードを入力 する

✓ **チェック!!** 「オートログインを設定する」がチェックされていない場合、タイマでの起動時に Windows NT のログイン画面でログイン待ちになり、指定した実行ファイルは起動しません。

9 設定を終了

- Timer-NXを終了した後もコンピュータを使う場合は、「コンピュータの電源を切る」のチェックをしていない状態で、「はい」ボタンをクリックします。
タイマがセットされ、Timer-NX が終了します。
- Timer-NXを終了した後ですぐに電源を切る場合は、「コンピュータの電源を切る」をチェックして「はい」ボタンをクリックします。
- 「いいえ」ボタンをクリックすると、タイマをセットせずにTimer-NXを終了します。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマ設定の画面に戻ります。

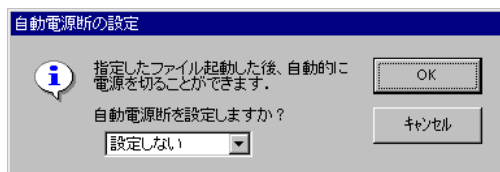
タイマ機能を利用するときの注意

- ・タイマで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手動操作で電源を入れた場合には、タイマ起動と判断される場合があります(2 ~ 3 分の誤差があります)。
- ・「コンピュータの電源を切る」を設定している場合、電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windows NT を終了させてください。

リング機能の設定を行う

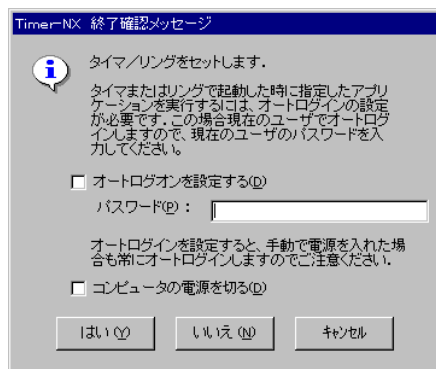
リング機能では、電話 / FAX 受信時に自動的に電源を入れる / 切るの設定 / 解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時間を指定できます。

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Timer-NX」をクリック
- 2 「リングセット」ボタン(電話マークのボタン)をクリック
ボタンが黄色く表示されリングが設定されます。
- 3 電源を入れた時に起動したいアプリケーションを指定
「実行ファイル」ボタンをクリックするとファイルを指定する画面が表示されますので、起動したいファイルを指定してください。
- 4 自動的に電源を入れた後、自動的に電源を切りたい場合は、終了時刻設定ボタンをマウスでクリック
次の画面が表示されます。



30分間隔で終了時刻を設定します。自動的に電源を入れた後、設定した時刻が経過すると電源が切れます。

5 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリック 「終了確認メッセージ」画面が表示されます。



6 オートログオンを設定する場合は、「オートログオンを設定する」を チェックする パスワードには、現在ログオンしているユーザのパスワードを入力 する

✓ **チェック!!** 「オートログオンを設定する」がチェックされていない場合、リングでの起動時に Windows NT のログオン画面でログオン待ちになり、指定した実行ファイルは起動しません

7 設定を終了

- Timer-NXを終了した後もコンピュータを使う場合は、「コンピュータの電源を切る」のチェックをしていない状態で、「はい」ボタンをクリックします。
- Timer-NXを終了した後ですぐに電源を切る場合は、「コンピュータの電源を切る」をチェックして「はい」ボタンをクリックします。
- 「いいえ」ボタンをクリックすると、設定を廃棄して Timer-NX を終了します。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定の画面に戻ります。

リング機能を利用するときの注意

- ・電話やFAXによるリング機能をご利用になる場合には、別売りのFAXモデムボードセット(PK-UG-X001)が必要です。ただし、この場合、FAXモデムボードによる電源オン/オフの機能と、内蔵のLANボードによるリモートパワーオン機能は、どちらか一方しか使用できません。
- ・Timer-NXでは、モデム着信時に電源を入れた後、一定時間経過後に自動で電源を切る設定を行うことができますが、通信中に電源を切らないよう電源を切るまでの時間を十分に長く設定してください。
- ・リング機能は、本機の電源が切れている状態のときに動作します。本機の電源が入っているときには、動作しません。

リモートパワーオン機能及びタイマ機能、リング機能を利用するときの注意

- ・指定した実行ファイルが、実行ファイルのあるフォルダ以外のフォルダにある場合は、正しく起動できない場合があります。
- ・本体の電源ケーブルがACコンセントに接続されていないときや停電時は、タイマーによる自動電源ONはできません。
- ・スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードを設定している場合は、「起動時確認をしない」にしてください。
- ・Windows NTの終了は、Timer-NXまたは「スタート」メニューの「シャットダウン」で行ってください。それ以外の方法でWindows NTの終了を行うと、自動電源ONできない場合があります。

オフタイマ機能の設定を行う

オフタイマ機能を使うと、指定した時刻に本機の電源を切ることができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリックし、「オフタイマ」ボタンをクリック
OffTimer 画面が表示されます。
- 2 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行う
数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。

3 「OK」/「キャンセル」の各ボタンを左クリックして、Timer-NXの 設定 / 解除を行う

- 「OK」ボタン : タイマの設定を行います。
このボタンを選んだ時点で電源 OFF のタイマがセットされます。
- 「キャンセル」ボタン : タイマの解除を行います。

 **チェック!!** オフタイマ機能がおこなわれた場合、電源が切られず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。

オフタイマ機能を利用するときの注意

タイマ設定を行っても、以下の場合はタイマによるオフタイマ機能はできません。

- ・無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
- ・OffTimer を終了させてしまった場合

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 3 を実行 (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Timer-NX」をクリック(反転表示)して「追加と削除」をクリック
- 3 「Timer-NX とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されたら「はい」をクリック
削除がはじまります。
削除中、Timer-NXが使用している共有ファイルの削除確認メッセージが表示される場合があります。これらの共有ファイルが他のアプリケーションでも、使用されている場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。
使用されていない場合は「削除」ボタンをクリックしてください。
他のアプリケーションで使用されているか不明な場合は「保存」ボタンをクリックしてください。
- 4 「削除されました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

追加

Timer-NX は、Windows NT 4.0 の再セットアップにともなう本機専用のドライバのセットアップと同時にインストールされます。

Timer-NX を削除してしまい、再度追加したい場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 「追加の準備」の手順 1 ~ 8 を実行 (P.4)
- 2 「Timer-NX」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 4 「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されたらパソコンの絵が描かれているボタンをクリック
インストールが始まります。
- 5 「Timer-NX のセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

NEC Soft MPEG1.0

概要

メディアプレーヤーなどで、MPEG1のファイルを再生するときにデータをデコードするために必要です。

- ✓ **チェック!!** NEC Soft MPEG1.0は、工場出荷時の状態ではインストールされておられません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧になりセットアップを行ってください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」から「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」から、「NEC Soft MPEG1.0」をクリック
- 3 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したいMPEG ファイルをクリック
- 4 「開く」ボタンをクリック
- 5 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0 に関する注意事項

- ・ビデオのみのデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみコマ送りとなります。（順方向ボタン）。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。

- ・画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤーでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0 の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 NEC Soft MPEG 1.0 を使用するアプリケーションが起動されていないことを確認
次のアプリケーションがNEC Soft MPEG 1.0を使用するアプリケーションです。
・メディアプレーヤー
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブを選ぶ
- 5 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックして、デバイスドライバの一覧を表示
- 6 「(MCI) NEC Soft MPEG1.0」をクリック
- 7 「削除」ボタンをクリック
- 8 「削除してもよろしいですか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリック
以上でNEC Soft MPEG1.0 が削除されます。

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップ CD-ROM（OSを除く）」をセット
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「デバイス」タブにある「追加」ボタンをクリックし、「追加」ダイアログを開く
- 5 「ドライバの一覧」から「一覧にない、または更新されたドライバ」を選び「ドライバのインストール」ダイアログを開く
- 6 「ドライバのインストール」ダイアログでコマンドラインに＜ CD-ROMドライブ名＞ ¥NECMPEG¥と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 7 「一覧にない、または更新されたドライバの追加」ダイアログが表示されるので「(MCI) NEC Soft MPEG 1.0」を選び「OK」ボタンをクリック
システム上にドライバが存在する場合、インストールの確認ダイアログが表示されるので、新しいドライバをインストールします。
- 8 インストールが完了するとNEC MPEG コンフィグレーションが表示されるので、「了解」ボタンで閉じる
以上でNEC Soft MPEG 1.0 が追加されます。

再セットアップするには

システムの修復方法や、本機に添付されている「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」や「バックアップCD-ROM(OSを除く)」などを使って、本機のシステムやアプリケーションを工場出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

この章の内容

再セットアップについて	58
システムを修復する	59
Windows NT 4.0 を再セットアップする	62



再セットアップについて

システムにトラブルが起こったとき、システムを復元しなければなりません。起こった症状や目的によって、対処方法は異なります。

再セットアップが必要になるとき

次のような状況のときに、本機を再セットアップしてください。

- ・ハードディスク内のプログラムファイルが不正になり、プログラムが起動できなくなった
- ・ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった
- ・電源を入れても、システムが起動しない
- ・本機内蔵のハードディスクを工場出荷時と異なるドライブ構成で使いたい

システムの修復方法について

システムの修復方法には、次の3通りの方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

- ・「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使用して、システムを修復
「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」



- ・「システム修復ディスク」を使用して、システムを修復
「Windows NT セットアップの修復」を使用してシステムを修復する」



- ・再セットアップを行う
「Windows NT 4.0を再セットアップする」

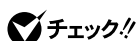
使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを追加したい場合は、「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」をご覧ください。

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windows NT が起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することが出来ます。



チェック！

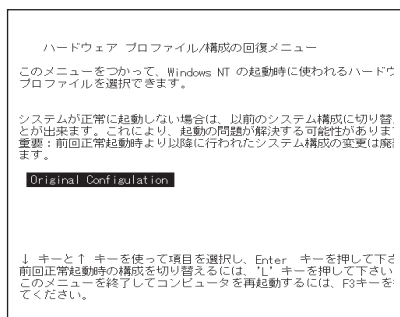
- ・ 前回システムが正常に起動したとき以降におこなった構成の変更は、すべて破棄されます。
- ・ 構成変更後 2 回以上問題なくブートしたあとでは、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順でおこないます。

問題があるWindows NTを起動します。

画面に「ここで【Space】を押すと、ハードウェアプロファイル/システム構成の回復メニューが表示されます。」の文字が表示されたら、【Space】を押します。

次の「ハードウェア プロファイル / 構成の回復メニュー」が表示されます。



このメニューでは次のいずれかを選べます。

- ・ 本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
- ・ 前回正常起動時の構成の切り替え
- ・ 本機の再起動

ここでは、前回正常起動時の構成を使用して、問題を発生する前の構成でWindows NTを再起動しますので、【L】を押して、【Enter】を押します。これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows NTが起動します。

「Windows NTセットアップの修復」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、前回正常起動時の構成を使用してもWindows NTが正常に起動しなかった場合、「Windows NT セットアップの修復」ならびに「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復できます。「システム修復ディスク」を作成していない場合または、紛失してしまった場合でも、Windows NT のrepair ディレクトリの中に、修復に必要な情報が保存されているため修復は可能です。

システムの修復は次の手順でおこないます。この手順を行う場合、「Windows NT 4.0を再セットアップする」の手順を参照しながら行ってください。

「Windows NT 4.0を再セットアップする」の手順に沿って、Windows NTのセットアップをおこないます。

セットアップ時に、Windows NTをセットアップするのか、Windows NTを修復するのかを指定するよう聞かれるので、【R】を押してWindows NTのファイルの修復を選びます。

「システム修復ディスク」をセットするように指示されますので、「システム修復ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。「システム修復ディスク」がない場合は、本機上で見つかったWindows NTの一覧が表示されるので、修復するWindows NTを指定します。

画面の指示にしたがって、修復をおこないます。「...は、セットアップでWindows NTのインストール時にコピーしたオリジナルのファイルではありません。」と表示されたらスキップを選択してください。スキップを選択しないと修復できません。

修復終了のメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブよりフロッピーディスクを取り出して再起動します。

**チェック!!**

- ・ 修復ディスクユーティリティをバックアップ目的に使用することは避けてください。
- ・ Windows NT の repair ディレクトリ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。構成情報を最新にするには、rdisk.exe を使用してください。使用方法については、Windows NT のオンラインヘルプ「修復ディスクユーティリティのヘルプ」をご覧ください。



Windows NT 4.0を再セットアップする

本機に Windows NT 4.0 (以降、Windows NT) のシステムを再セットアップする方法について説明しています。

再セットアップする前に

ここでは、再セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

再セットアップを始める前に必ずお読みください。

準備するもの

再セットアップを行うには、次のものがが必要です。

本機に添付されている次のCD-ROMとフロッピーディスクを用意してください。

- Windows NT Workstation CD-ROM Disc1, Disc2
- Windows NT Workstation Setup Disk1 ~ Disk3
- バックアップ CD-ROM (OSを除く)
- バックアップ CD-ROM (OSを除く) 用インストールディスク
- バックアップ CD-ROM (OSを除く) 用インストールディスク #2 (MA40D/M (PD 搭載モデル) のみ)
- Windows NT Service Pack 3 CD-ROM

また、次のものを用意してください。

- 新しいフロッピーディスク1枚 (1.44M バイトでフォーマットしたもの)
フロッピーディスクには「Windows NT 修復ディスク」のラベルを貼っておいてください。

必要なハードディスクの空き容量

再セットアップにはハードディスクに次の容量が必要になります。

- 約 1G バイト以上

再セットアップに関する注意

- ・「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」の¥NT40 ディレクトリにWindows NT 4.0 の補足事項を記述したREADME.TXT があります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・バックアップCD-ROM で再セットアップできるのは、本機に標準で添付されていたソフトウェアのみです。お客様ご自身が、後からインストールされたアプリケーションや、作成されたデータは復元されません。お客様ご自身が後から変更した設定やデータはすべて消え初期状態に戻ります。本機を購入後、お客様が接続した周辺機器の設定はシステムの再セットアップ後にもう一度、設定し直してください。周辺機器の設定については『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』または、周辺機器のマニュアルをご覧ください。また、再セットアップを行う前に大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異なる場合があります。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断した場合は最初からやり直してください。
- ・再セットアップ中はスリープボタンを押さないでください。

再セットアップする前の確認事項

BIOSの設定を変更している場合は工場出荷時の状態に戻してください。また、パスワードを解除してください。



パスワードを解除するには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 システム設定」の「パスワードの設定」

BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

再セットアップする

Windows NT を再セットアップするには次の手順でおこないます。

- ・ Windows NT の再セットアップ
- ・ ドライバのアップデート
- ・ 内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ
- ・ 内蔵サウンドドライバの再セットアップ

ここでは、次のようなドライブ構成になっている場合を例に説明します。実際と異なる場合は、読み替えてください。

Windows NT を再セットアップするディレクトリ C:¥WINNT
フロッピーディスクドライブ A
CD-ROM ドライブ D (MA40D / M (PD 搭載モデル)を除く)
PD ドライブのCD-ROM ドライブ E (MA40D / M (PD 搭載モデル)のみ)



チェック!

「ドライバのアップデート」以降の作業は、必ず Administrator 権限を持つユーザで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントが Administrator 権限を持っているか分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator 権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

Windows NTの再セットアップ

ここでは、Windows NT のセットアップ手順について説明します。ここで詳しく解説されていない手順については、『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』、オンラインヘルプまたは、Windows NT の説明ファイルをご覧ください。

本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセットします。次に、CD-ROM ドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットします。

画面の指示にしたがって、セットアップディスクを入れ替えます。

「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら【Enter】を押してください。

大容量記憶装置の検出を行うかどうかの画面が表示されます。ここでは、MA40D/M (PD搭載モデル)の場合は、検出のスキップ、その他のモデルは「続行」を選んでください。ここで「続行するにはEnterキーを押してください。シリンダ数が1024を超えるハードディスクが存在します」のメッセージが表示されることがあります。この画面では【Enter】を押して先に進んでください。

「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。MA40D/M (PD搭載モデル)の場合は、「追加デバイスの指定」を選んでください。その他のモデルの場合は、「IDE CD-ROM (ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押して手順に進んでください。

デバイスの一覧から、「その他 (ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選んで、【Enter】を押します。

ドライバが入っているディスクをセットするように表示が出ますので、フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク #2」をセットして、【Enter】を押します。

ドライバー一覧から、「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944 or AIC-78xx PCI SCSI Controller (NT 4.0)」を選んで【Enter】を押します。

認識した大容量記憶装置の一覧に「Adaptec AHA-290x/291x/294x/394x/4944 or AIC-78xx PCI SCSI Controller (NT 4.0)」が追加されていることを確認して、追加デバイスの指定を選択します。

一覧から「IDE CD-ROM (ATAPI 1.2) PCI IDE Controller」を選んで【Enter】を押します。

画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替えます。

認識した大容量記憶装置の一覧に「Adaptec AHA-290x/291x/294x/394x/4944 or AIC-78xx PCI SCSI Controller (NT 4.0)」IDE CD-ROM (ATAPI 1.2) PCI IDE Controller」が追加されていることを確認して【Enter】を押します。ここで「続行するにはEnterキーを押してください。シリンダ数が1024を超えるハードディスクが存在します」のメッセージが表示されることがあります。この画面では【Enter】を押して先に進んでください。

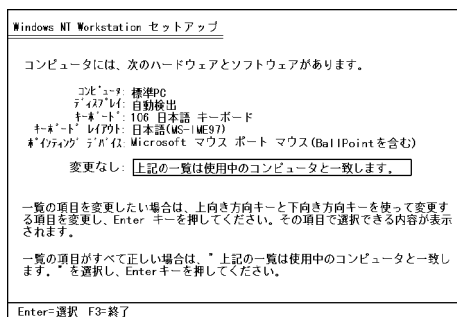
ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよくお読みになり、【F8】を押します。「Page Down」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、再セットアップはできません。

本機にその他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないで再セットアップを続けてください。

キーボードの種類を聞いてくるので、「106 日本語キーボード」を選びます。PS/2接続キーボードをご使用の場合は、画面の指示に従って②③に進みます。

「106日本語キーボードよろしいですか?(Y/N)」画面が表示されますので、【Y】を押します。

次のような画面になります。ここで、USBキーボードドライバを組み込みます。



「キーボード」を選んで、「106日本語キーボード」が追加されていることを確認して、【Enter】を押します。

「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選んで、【Enter】を押します。

ドライバが入っているディスクをセットするように指示されるので、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして、【Enter】を押します。

一覧から「USB Keyboard with Mouse(USB 109 日本語キーボード(JIS配列))」を選んで、【Enter】を押します。

- ②手順 の画面に戻るので、「キーボード」の種類が「USB Keyboard with Mouse(USB 109 日本語キーボード(JIS配列))」に変わっていることを確認して、【Enter】を押します。

②② 画面の指示にしたがって、再セットアップを続けてください。

②③ Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定をおこないます。

ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」または、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選んでください。購入時の状態に戻すには、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選んでください。

②④ 画面の指示にしたがってセットアップを続行します。



チェック!!

セットアップ途中で、次のディスクの挿入要求がされた場合は、下のディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてください。

- ・「USB Keyboard with Mouse Driver Disk」
→ 「バックアップ CD-ROM (OSを除く) 用インストールディスク」

②⑤ ファイルのコピーが終了すると、「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されます。ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、本機を再起動してください。

②⑥ テキストセットアップが終了しコンピュータを再起動させると、グラフィックセットアップの画面が表示されます。画面の指示にしたがって、次の設定を行ってください。

- ・ セットアップ方法
- ・ 個人情報の入力
- ・ プロダクトIDの登録
- ・ コンピュータ名の登録
- ・ 管理者アカウントのパスワードの登録
- ・ システム修復ディスク作成の選択(問題が発生した場合にそなえて必ず選択してください)
- ・ インストールするファイルの選択



チェック!!

「管理者アカウントのパスワード登録」を設定するときは、キーボードのテンキーでの入力ではできません。

工場出荷時の状態に戻すには、セットアップ方法の選択画面で、「カスタム」を選んでください。インストールするファイルの選択画面では、全てのファイルにチェックをつけてください。

プロダクト ID は、添付の『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

< ネットワークのインストール >

Windows NT のセットアップ中にネットワークに参加しなかった場合は、後述の「ドライバのアップデート」終了後に以下の手順が必要になります。



チェック!!

< 別売りの 100 BASE-TX インターフェースボード(以後、オプションPK-UG-X006)を追加、ご使用される場合についてのご注意 >

オプションPK-UG-X006 ボードのマニュアルには、本体内蔵用ドライバをいったん削除した後、オプションボード添付のドライバディスクを使用するように指示されていますが、本機にオプションPK-UG-X006を追加する場合は本体内蔵用ドライバをインストールしてください。

その際、セットアップ済みの内蔵用LANドライバを削除する必要もありません。

- (1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。
- (2)「今すぐインストールしますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。
- (3)「ネットワークセットアップウィザード」で「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
- (4)[一覧から選択] ボタンをクリックします。
- (5)ネットワークアダプタの選択画面が表示されます。「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- (6)途中でネットワークに必要なファイルの読み込みが要求される場合がありますので、次のように入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

C:¥1386

(7) 次のネットワークアダプタの構成を行います。

途中で「PCI Configuration Notification」または「PCIコンフィグレーション情報」その他確認のウィンドウが表示された場合は、内容を確認し「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・ネットワークプロトコルの選択
- ・ネットワークサービスの選択
- ・ネットワークの設定の確認
- ・ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter の設定
- ・ネットワークバインドの調整
- ・ワークグループまたはドメインの参加

 **チェック!** ネットワークのインストール後、再起動しないですぐにService Pack 3をインストールしてください。

 **参照** Service Pack 3のインストール→「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「この章の構成」「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 3」について」

- ②7 「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
- ②8 ネットワークアダプタの検索画面が表示されます。ここでは、「一覧から選択」ボタンをクリックします。
- ②9 フロッピーディスクの挿入画面が表示されるので「バックアップ CD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。
- ③0 ネットワークアダプタの選択画面で、「ディスク使用」ボタンをクリックし、次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。
A : ¥E100B
- ③1 「OEMオプションの選択」画面が表示されます。リストから「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」を選んで、「OK」ボタンをクリックします。
- ③2 ネットワークアダプタの検索画面に、「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

③④ 次のネットワークアダプタの構成をおこないます。

途中で、「PCIコンフィグレーション情報」または、「PCI Configuration Notification」その他、確認のウィンドウが表示された場合は、内容を確認し「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・ネットワークプロトコルの選択
- ・ネットワークサービスの選択
- ・ネットワークの設定の確認
- ・ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter の設定
- ・ネットワークバインドの調整
- ・ワークグループまたはドメインの参加



チェック!

- ・ネットワークアダプタの検索画面に、「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- ・TCP/IP プロトコルを使用する場合は、最初のネットワークの設定時に、TCP/IP プロトコルを組み込んでください。後からTCP/IP プロトコルを組み込む場合は、一度ネットワークの設定をすべて削除してからネットワークの設定をやり直してください。
- ・インストール中にディスプレイの設定画面が表示され、「"Vga 互換ディスプレイアダプタ" が検出されました。」と表示されますが、そのまま「OK」ボタンをクリックして処理を続行してください。

③④ ファイルのコピー終了後、手順②⑥ で選んでおいた、「システム修復ディスク」の作成をおこないます。

用意しておいたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、「OK」ボタンをクリックします。「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスクドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROM ドライブから「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出してください。「コンピュータの再起動」ボタンをクリックして、Windows NT を再起動します。

以上で、Windows NT 本体の再セットアップは終了しました。

Windows NT 再起動後、「ドライバのアップデート」に進んでください。

ファイルシステムとして NTFS を選んだ場合は、最初のシステム起動でファイルシステムの変換をおこない、その後自動起動します。

これ以降の作業は、必ず Administrator 権限を持つユーザで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントが Administrator 権限を持っているか分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

Administrator権限を持つユーザでログインする方法が不明な場合、「ログイン情報」画面で「ユーザー名」に"Administrator"、「パスワード」に本機初回起動時にお客様が設定した管理者アカウントのパスワードを入力し、「ドメイン名」で初回起動時に設定したコンピュータ名を選んで「OK」ボタンをクリックします。

(ドメイン名は、ネットワークのインストールでドメインを設定した場合のみ表示されます。)

ドライバのアップデート

ハードディスクの¥NT40 ディレクトリ、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」、および「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク #2」(MA40D/ M (PD 搭載モデル)のみ)には、本機の機能を有効に利用するための最新のドライバが保存されています。

ここでは、Windows NT のアップデートの手順について説明します。



チェック!!

ドライバをアップデートする前に、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」の¥NT40 ディレクトリにある「README.TXT」を必ずご覧ください。

「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットします。

「スタート」ボタンから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックしてください。

「インストール」ボタンをクリックし「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、「次へ」ボタンをクリックします。

「A:¥NXSETUP.exe」と表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

「PC98-NXシリーズバックアップ(OSを除く)セッティングユーティリティ」のセッティング画面が起動しますので、「Windows NT 4.0のアップデート」が選択されている事を確認して、「インストール」ボタンをクリックしてください。

CD-ROMドライブのトレイジェクトボタンを押して、「Windows NT Workstation 4.0 CD-ROM Disc1」をトレイにセットします。

【Shift】を押し続けたまま、トレイジェクトボタンを押します。

 **チェック!** 【Shift】を途中で放すと「Windows NT CD-ROM」画面が表示されます。この場合は、 ボタンをクリックして終了してください。

「OK」ボタンをクリックすると「ファイルをコピーしています...」と表示されます。

コピーの終了後、CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出します。

～ と同じ手順を「Windows NT Service Pack 3 CD-ROM」でおこないます。

 **チェック!** 【Shift】を途中で放すとInternet Explorer が起動します。この場合は、 ボタンをクリックして終了してください。

「本体対応のWindows NT差分ファイルをインストールします」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。

「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットします。

「OK」ボタンをクリックすると「ファイルをコピーしています...」と表示されます。

コピー終了後、「OK」ボタンをクリックします。「Timer-NXセットアップ」画面が表示されます。

インストールボタンをクリックします。

「Timer-NXのセットアップが完了しました」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「Timer-NXを使用するためにはコンピュータの再起動が必要です。」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「本機対応Windows NT 4.0アップデート」画面が表示されます。メッセージをよく確認された上で「OK」ボタンをクリックしてください。

コピー終了後、「Windows NTに戻る」ボタンをクリックします。「システム設定の変更」画面が表示されます。

- ②1 CD-ROMとフロッピーディスクをそれぞれのドライブから取り出します。
- ②2 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか？」というメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックすると自動的に再起動します。

内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ

ハードディスクの¥NT40 ディレクトリには、内蔵アクセラレータのドライバが保存されています。ここでは、内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ手順について説明します。



チェック!

再セットアップを行う前に必ず「Windows NT Service Pack 3」をインストールしてください。本書の手順通り再セットアップを行っている場合、また、すでにインストールされている場合は不要です。

内蔵アクセラレータドライバの再セットアップは次の手順でおこないます。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」から「画面」をダブルクリックします。

「ディスプレイの設定」タブをクリックします。

「ディスプレイの種類」ボタンをクリックします。

「変更」ボタンをクリックします。

「ディスク使用」ボタンをクリックします。

ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。

< MA40D/M (CD-ROM 搭載モデル)、MA33D/M、MA35D/S、MA30D/S、MA26D/S、MA33D/C、MA26D/C の場合 >

Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥RIVA128 ディレクトリ(例:C: ¥NT40¥RIVA128)を指定して「OK」ボタンをクリックします。

「ディスプレイ」リストボックスから、「NVidia RIVA 128」を選択します。

< MA40D/M (PD 搭載モデル) の場合 >

Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥PERM2ディレクトリ(例:C:¥NT40¥PERM2)を指定して、「OK」ボタンをクリックします。

「ディスプレイ」リストボックスから、「DIAMOND FIRE GL 1000 PRO」を選択します。

< MA23C/S、MA23C/C の場合 >

Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥GD5465ディレクトリ(例:C:¥NT40¥GD5465)を指定して、「OK」ボタンをクリックします。

「ディスプレイ」リストボックスから、「Cirrus Logic 546x」を選択します。

< 以降は全機種共通 >

「OK」ボタンをクリックします。MA40D/M (PD 搭載モデル) の場合は、手順に進んでください。

「サードパーティドライバをインストールしようとしています...続行しますか」のメッセージが表示される場合がありますので、「はい」ボタンをクリックします。

ドライバ組み込み結果が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「閉じる」ボタンをクリックします。

「閉じる」ボタンをクリックします。

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、他のドライバの再セットアップが完了している場合は、「はい」ボタンをクリックします。続けて他のドライバの再セットアップを行う場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、「内蔵サウンドドライバの再セットアップ」に進んでください。

以上で、内蔵アクセラレータドライバの再セットアップは終了しました。本機を再起動した後にアクセラレータドライバが有効になります。

内蔵サウンドドライバの再セットアップ

ハードディスクの¥NT40ディレクトリには内蔵サウンドドライバが保存されています。ここでは、内蔵サウンドドライバの再セットアップ手順について説明します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

「マルチメディア」をダブルクリックします。

「デバイス」タブをクリックします。

「追加」ボタンをクリックします。

ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして「OK」ボタンをクリックします。

< MA23C/S、MA33D/C、MA26D/C、MA23C/C、MA23C/L の場合 >

ドライバのインストール画面になるので、Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥YMF715Eディレクトリ(例:C:¥NT40¥YMF715E)を指定して「OK」ボタンをクリックします。

ドライバーの一覧から「OPL3-SA Sound System(Japanese)」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

パラメータの設定画面になるので、「OK」ボタンをクリックします。

< MA40D/M、MA33D/M、MA35D/S、MA30D/S、MA26D/S の場合 >

ドライバのインストール画面になるので、Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥YMF724ディレクトリ(例:C:¥NT40¥YMF724)を指定して「OK」ボタンをクリックします。

ドライバの一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver(Japanese)」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

パラメータの設定画面になるので、「OK」ボタンをクリックします。

<以降は全機種共通>

再起動を促すメッセージが表示されるので、他のドライバの再セットアップが完了している場合は、「再起動する」ボタンをクリックします。続けて他のドライバの再セットアップを行う場合は「再起動しない」ボタンをクリックします。

以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。再起動後にサウンドドライバが有効になります。

これ以降は、各アプリケーションを再セットアップします。

再セットアップの後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は、必ずWindows NTの再起動後に行ってください。

詳しくは「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の各アプリケーションの「追加」をご覧ください。なお、工場出荷時の状態でインストールされているアプリケーションについては、「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」を参照してください。

P A R T

3

他のOS を利用する

この章の内容

Windows NT Server 4.0 を利用する 78



Windows NT Server 4.0を利用する

本機では、インストールされているWindows NT Workstation 4.0日本語版のほかにWindows NT Server 4.0日本語版を利用することができます。本機でWindows NT Server 4.0をセットアップするには、次の手順でおこないます。

1. Windows NT Server 4.0のセットアップ
 - 1-1. Windows NT Server 4.0をセットアップする前の確認事項
 - 1-2. Windows NT Server 4.0をセットアップする
 - 1-3. Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」の利用
 - 1-4. ドライバをアップデートする
2. 内蔵サウンドの利用
3. 内蔵アクセラレータの利用



チェック!! ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。

- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・本機に添付されている「バックアップ CD-ROM(OSを除く)」、「バックアップ CD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」、「Microsoft Windows NT 4.0日本語版 Service Pack 3」を用意しておいてください。
- ・フロッピーディスク1枚を用意し、ラベルに「システム修復ディスク」と記入しておいてください。
- ・本機にWindows NT Server 4.0をセットアップした場合、本機に標準で添付されている以下のアプリケーションが利用できます。
 - Masty Data Backup
 - Timer-NX
 - NEC Soft MPEG1.0

Windows NT Server 4.0 のセットアップ

Windows NT Server 4.0 をセットアップする前の確認事項

Windows NT Server 4.0 セットアップを行う前に、次の確認を行ってください。

- ・BIOS セットアップユーティリティで設定を変更している場合は、工場出荷時の設定に戻してください。



参照 BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART3 システム設定」の「BIOS セットアップユーティリティについて」

Windows NT Server4.0 をセットアップする

本機にWindows NT Server 4.0 を新規に組み込む場合について説明します。

セットアップを行う場合次の点に注意してください。



- チェック! ・「バックアップ CD-ROM(OS を除く)用インストールディスク」の ¥NT40 ディレクトリにWindows NT Server 4.0の補足事項を記述したREADME.TXT が格納されています。セットアップを行う前にお読みください。
- ・セットアップについての詳しい説明は、Windows NT 4.0 のマニュアルをご覧ください。

セットアップは次の手順でおこないます。

- 1 「Windows NT Setup Disk 1」を、フロッピーディスクドライブにセットして本機の電源を入れる
- 2 画面の指示にしたがって、セットアップを続ける
- 3 大容量記憶装置の検出を行うかどうかの画面が表示されます。ここでは、MA40D/M(PD 搭載モデル)の場合は検出のスキップ、その他のモデルは「続行」を選んでください。ここで「続行するにはEnterキーを押してください。シリンダ数が1024を超えるハードディスクが存在します」のメッセージが表示されることがあります。この画面では【Enter】を押して先に進んでください。

- 4 「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
MA40D/M(PD搭載モデル)の場合は「追加デバイスの指定」を選ぶ。その他のモデルの場合は、「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し【Enter】を押して手順 12 に進む。
- 5 デバイスの一覧から、「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選んで、【Enter】を押す
- 6 ドライバが入っているディスクをセットするように表示が出ますので、フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク#2」をセットして、【Enter】を押す
- 7 ドライバー一覧から、「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944 or AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」を選んで【Enter】を押す
- 8 認識した大容量記憶装置の一覧に「Adaptec AHA-290x/291x/294x/394x/4944 or AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」が追加されていることを確認して、追加デバイスの指定を選択する
- 9 一覧から「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」を選んで【Enter】を押す
- 10 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える
- 11 認識した大容量記憶装置の一覧に「Adaptec AHA-290x/291x/294x/394x/4944 or AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」
「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が追加されていることを確認して【Enter】を押す

12 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読んでから【F8】を押す

「Page Down」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、再セットアップはできません。

13 本機にその他の Windows NT がインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないで再セットアップを続ける

14 「キーボードの種類を特定するために以下のいずれかのキーを押してください」のメッセージが表示されるので、106キーボードを選ぶ(【半角/全角】を押す)

PS/2接続キーボードをご使用の場合は、画面の指示に従って手順21に進みます。

15 次のような画面が表示されるので、【↑】で「キーボード:」の「106 日本語キーボード」を選んで、【Enter】を押す

Windows NT Server セットアップ
コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。
コンピュータ: 標準 PC
ディスプレイ: 自動検出
キーボード: 106 日本語 キーボード
キーボード レイアウト: 日本語 (MS-IME97)
ポインティング デバイス: Microsoft マウス ポート マウス (BallPoint を含む)
変更なし: 上記の一覧は使用中のコンピュータと一致します。
一覧の項目を変更したい場合は、上向き方向キーと下向き方向キーを使って変更する項目を選択し、Enter キーを押してください。その項目で選択できる内容が表示されます。
一覧の項目がすべて正しい場合は、「上記の一覧は使用中のコンピュータと一致します。」を選択し、Enter キーを押してください。
Enter=>選択 F3=>終了

16 「インストールするキーボードの種類を変更します」と表示されますので【↓】で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選んで、【Enter】を押す

- 17** 「次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入してください」と表示されたら、フロッピーディスクドライブに「バックアップ CD-ROM (OS を除く) 用インストールディスク」をセットし【Enter】を押す
- 18** 「ハードウェア メーカーから提供されたキーボードをインストールします」と表示されるので、「USB Keyboard with Mouse (USB 109 日本語キーボード (JIS 配列))」が選択されていることを確認し、【Enter】を押す
- 19** 「コンピュータには次のハードウェア とソフトウェアがあります」の画面に戻るので、「キーボード」が「USB Keyboard with Mouse (USB 109 日本語キーボード (JIS 配列))」になっていることを確認し、【Enter】を押す
- 20** 画面の指示に従ってセットアップを続ける
「次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入してください。USB Keyboard with Mouse Driver Disk」と表示された場合は、「バックアップ CD-ROM (OS を除く) 用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして【Enter】を押してください。
- 21** ファイルのコピー終了後、画面の指示に従いドライブよりフロッピーディスク、CD-ROM を取り出して、コンピュータを再起動これで、Windows NT 4.0 のテキストセットアップは終了しました。続いてグラフィックセットアップをおこないます。グラフィックセットアップでは、内蔵 LAN を組み込む手順を説明します。
- 22** 再起動すると CD-ROM の挿入要求のメッセージが表示されるので、「Windows NT CD-ROM Disc 1」を CD-ROM ドライブにセットして「OK」ボタンをクリック

23 グラフィックセットアップでは、次の設定を行う
これら設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧ください。

- ・セットアップ方法の選択
- ・個人情報の入力
- ・サーバーの種類の選択
- ・管理者アカウントのパスワードの設定
- ・システム修復ディスク作成の選択
- ・インストールするファイルの選択

24 次にネットワークのインストールを行う。ネットワークに参加させる方法を、「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!!** 別売りの 100BASE-TX インターフェースボード(以後、オプション PK-UG-X006)を追加、ご使用される場合についてのご注意

オプション PK-UG-X006 ボードのマニュアルには、本体内蔵用ドライバをいったん削除した後、オプションボード添付のドライバディスクを使用するように指示されていますが、本機にオプション PK-UG-X006を追加する場合は本体内蔵用ドライバをインストールしてください。

その際、セットアップ済みの内蔵用 LAN ドライバを削除する必要はありません。

25 Internet Information Server をインストールするかどうかを選んで、「次へ」ボタンをクリック

26 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」をクリック

27 ネットワークアダプタの選択画面で、「ディスク使用」をクリック

28 フロッピーディスクの挿入画面が表示されるので、「バックアップ CD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして、次のように入力して、「OK」ボタンをクリック

A:¥E100B

29 OEM オプションの選択画面が表示されるので、リストから「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」を選んで、「OK」ボタンをクリック

30 ネットワークアダプタの検索画面に、「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリック
内蔵LANアダプタのセットアップ中に、「PCIコンフィグレーション情報」または「PCI Configuration Notification」というメッセージが表示される場合があります。「OK」ボタンをクリックして先に進んでください。

31 次のネットワークアダプタの設定を行う

- ・ネットワークプロトコルの選択
- ・ネットワークサービスの選択
- ・ネットワークの設定の確認
- ・ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter の設定
- ・ネットワークバインドの調整
- ・ワークグループまたはドメインの参加

これで、内蔵LANを組み込む手順が終了しました。後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックしてコマンドプロンプトを起動する
- 2** 「バックアップ CD-ROM(OSを除く)」、「バックアップ CD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をそれぞれCD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブにセット

- 3** 次のように入力する
ここでは、フロッピーディスクドライブをA、CD-ROMドライブをEとして説明しているので、実際と異なる場合は読みかえてください。以降は画面の指示に従ってください。

A :¥BACKUP¥NTSETUP E 【Enter】

- 4** しばらくするとアップデートの画面が表示されます。表示されているメッセージをよく確認した上で、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5** コピーが終了すると、アップデートの適用画面が表示されます。「Windows NT に戻る」ボタンをクリック

- 6** CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、Windows NT をシャットダウン

- 7** シャットダウン終了後、本機を再起動

以上で Windows NT Server 4.0 のセットアップは終了しました。

内蔵サウンドの利用

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「マルチメディア」アイコンをダブルクリック
- 3** 「デバイス」タブをクリック
- 4** 「追加」ボタンをクリック
- 5** ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして「OK」ボタンをクリック

< MA23C/S、MA33D/C、MA26D/C、MA23C/C の場合 >

- 6 ドライバのインストール画面になるので、Windows NT Serverをインストールしたドライブの NT40¥YMF715E ディレクトリ (例 C:¥NT40¥YMF715E) を指定して「OK」ボタンをクリック
- 7 ドライバの一覧から「OPL3-SA Sound System(Japanese)」を選んで「OK」ボタンをクリック

< MA40D/M、MA33D/M、MA35D/S、MA30D/S、MA26D/S の場合 >

- 8 ドライバのインストール画面になるので、Windows NT Serverをインストールしたドライブの NT40¥YMF724 (例 C:¥NT40¥YMF724) を指定して、「OK」ボタンをクリック
- 9 ドライバ一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選んで「OK」ボタンをクリック

< 以降は全機種共通 >

- 10 ハードウェアコンフィギュレーションの画面が表示されるので「OK」ボタンをクリック
- 11 再起動を促すメッセージが表示されたら、他のドライバの再セットアップが完了している場合は「再起動する」ボタンをクリックします。続けて他のドライバの再セットアップを行う場合は「再起動しない」ボタンをクリックします。
以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。再起動後にサウンドドライバが有効になります。

内蔵アクセラレータの利用

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」アイコンをダブルクリック
- 3 「ディスプレイの設定」タブをクリック

4 「ディスプレイの種類」ボタンをクリック

5 「変更」ボタンをクリック

6 「ディスク使用」ボタンをクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。

< MA40D/M (CD-ROM 搭載モデル)、MA33D/M、MA35D/S、MA30D/S、MA26D/S、MA33D/C、MA26D/C の場合 >

7 Windows NT Server をインストールしたドライブの
NT40¥RIVA128 ディレクトリ (例 C:¥NT40¥RIVA128) を指定して、
「OK」ボタンをクリック

8 「ディスプレイ」のリストボックスから、「NVidia RIVA128」を選んで「OK」ボタンをクリック

< MA40D/M (PD 搭載モデル) の場合 >

9 Windows NT Server をインストールしたドライブの
NT40¥PERM2 ディレクトリ (例 C:¥NT40¥PERM2) を指定して、
「OK」ボタンをクリック

10 「ディスプレイ」のリストボックスから、「DIAMOND FIRE GL
1000 PRO」を選んで「OK」ボタンをクリック

< MA23C/S、MA23C/C の場合 >

11 Windows NT Server をインストールしたドライブの
NT40¥GD5465 ディレクトリ (例 C:¥NT40¥GD5465) を指定して、
「OK」ボタンをクリック

12 「ディスプレイ」のリストボックスから、「Cirrus Logic 546x」を選んで「OK」ボタンをクリック

<以降は全機種共通>

- 13** 「サードパーティドライバをインストールしようとしています」のメッセージが表示されるので「はい」ボタンをクリック
MA40D/M(PD搭載モデル)の場合は、本操作をスキップします。

- 14** この後は画面に表示されるメッセージに従って操作する

 **チェック!!** 再セットアップ後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は必ず Windows NT の再起動後に行ってください。

トラブル解決 Q & A

パソコンを使っていて、なにかトラブルが起きたときは、ここを読んでください。
「トラブルを解決するには」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。
なにか疑問があるときも、ここを読んでください。

この章の内容

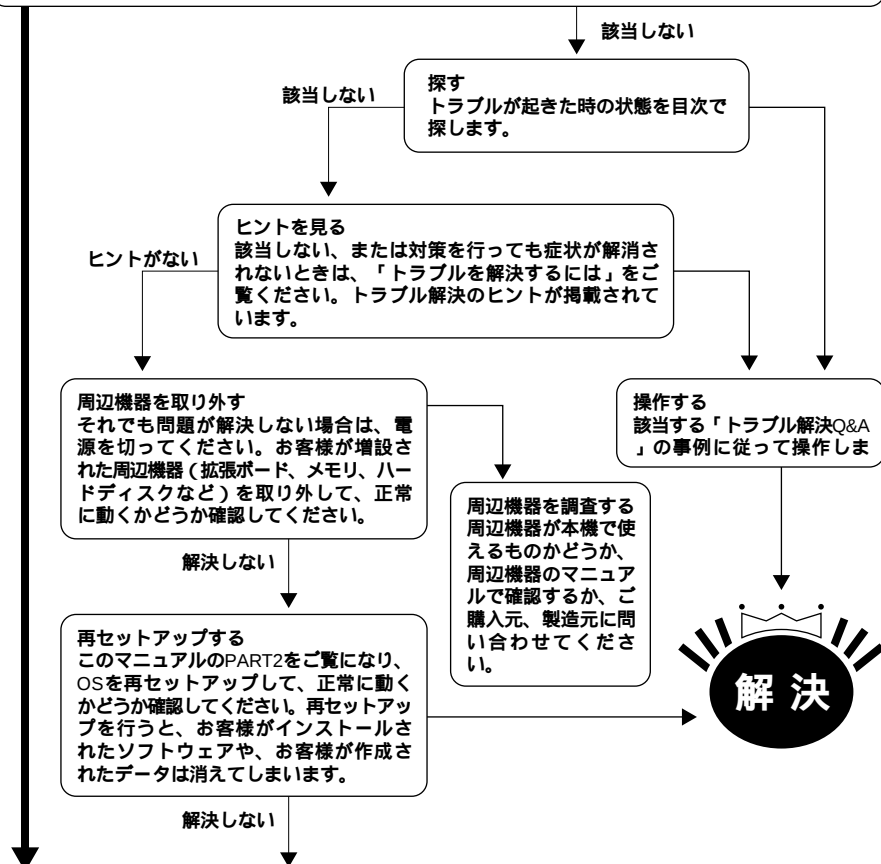
トラブルが起きたとき	90	ファイルを保存しようとしたら... ..	118
トラブルを解決するには	91	LAN（ローカルエリアネットワーク）に	
お問い合わせの前に		接続しようとしたら... ..	120
（トラブルチェックシート）	93	印刷しようとしたら... ..	122
はじめて電源を入れたら... ..	95	フロッピーディスクを使っていたら... ..	124
電源を入れたが... ..	97	ハードディスクを使っていたら... ..	127
電源を切ろうとしたが... ..	103	CD-ROM を使っていたら... ..	132
サスペンド / レジューム		周辺機器を取り付けようとしたら... ..	135
機能を使おうとしたら... ..	104	メモリが足りない、増やしたい... ..	137
パソコンがこわれそう... ..	105	アプリケーションを使っていたら... ..	138
画面がおかしい... ..	107	日付の設定を変えようとしたら... ..	141
ファイル、フォルダがおかしい... ..	108	コンピュータウイルス対策について	142
音がおかしい... ..	111	その他	145
マウスを動かしても... ..	112	アフターケアについて	147
文字を入力しようとしたら... ..	114		

トラブルが起きたとき

このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手がかりに次の手順で解決法を見つけてください。

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください

煙や異臭、異常音が出た場合、すぐに電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。それ以外のトラブルの場合は下へ進んでください。



システム管理者、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

トラブルを解決するには

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせるため、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

● 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。パソコンが反応していない(フリーズした)ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。

◆ 用語 ◆ フリーズ

どんな操作をおこなっても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウインドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

● メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

● 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっと他のものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。

周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取りはずして、トラブルが起きた操作をやりなおすと、どれに関連したトラブルなのかがわかります。

● Windows NTのヘルプ

Windows NTにあるヘルプを参照してください。参照方法は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「ヘルプの表示方法」をご覧ください。

● 「トラブル解決 Q&A」の中から、あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページを読んでください。

●他のマニュアルやヘルプ、Readmeファイルを見る

あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプを見てください。

また、アプリケーションには、Readme ファイルがついていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパットなどのワープロで開いて、読んでください。

本機には、次のようなREADME ファイルがあります。

C:\¥WINNT¥NECREAD.TXT.....本製品の御利用にあたっての補足説明

C:\¥WINNT¥SYSTEM32¥README.WRI.....Windows NTについての追加情報

「バックアップ CD-ROM (OS を除く) 用インストールディスク」内の、¥NT40¥README.TXT...Windows NT 4.0の本機対応ドライバについての補足事項

「Service Pack 3」内の、¥README.TXT...Service Pack 3の補足説明

●「トラブルチェックシート」に記入する

どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」に記入してください。

●問い合わせる

NECの問い合わせ先は『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

パソコンと別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

パソコンに添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先のほうが適切な回答をえられます。

<パソコンに添付されているアプリケーションの問い合わせ先>

- 本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」に従い、各社へお問い合わせください。
- その他のアプリケーションについては、『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ ハードウェア

本体

型番（保証書に記載されています）

製造番号（保証書番号）

メモリの容量 _____ MB(メガバイト)

ハードディスクの容量 _____ GB(ギガバイト)

ハードディスクの空き領域 _____ MB(メガバイト)

ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。

周辺機器

品名・型名（メーカー名）

ディスプレイ

プリンタ

増設ハードディスク

ネットワークボード

その他の周辺機器

■ ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー

☐ Windows NT（バージョン _____ ）

トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート 2 具体的なトラブルの内容

● どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

● 画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

● そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動する
たびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

● その他に気づいたことがあれば書いてください。

はじめて電源を入れたら・・・

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』



セッアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください。

再度電源を入るとCHKDSKが実行され、セッアップが続行される。

Windows NT 4.0のセッアップは、正常に作業が終了しなかった時のためにいくつかの保護機能を備えています。CHKDSKは停電によって電源が切れた場合や接続されている機器を正しく検知できず、やむを得ず電源を切った場合、Windows NT 4.0のいくつかのファイルが破損してしまった場合などに機能します。電源を入れてCHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セッアップを続行することができます。

セッアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。

「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示されたとき

誤った方法で突然電源を切ると、ハードディスク上のファイルが損傷してしまうことがあります。「Non-System disk」と表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows NT 4.0のセッアップは機能しません。

ご購入元にご相談ください。

参照 再セッアップ → 「PART2 再セッアップするには」

「Non-System Disk or disk error

Replace and strike any key when ready.」というメッセージが表示されたとき

フロッピーディスクドライブにシステムディスクでないフロッピーディスクが入っていて、パソコンがそのディスクからの起動を試みています。フロッピーディスクを取り出して何かキーを押すと、ハードディスクに入っているシステムが起動します。ハードディスクが壊れていたり、ハードディスクにシステムが入っていない場合は、システムの入っているディスクをフロッピーディスクに入れて何かキーを押すと、そのディスクからシステムが起動します。

「Invalid system disk.

Replace and strike any key when ready.」というメッセージが表示されたとき

ハードディスクがフォーマット(初期化)されていてシステムが入っていない状態です。システムの入っているディスクをフロッピーディスクドライブに入れて何かキーを押すと、そのディスクからシステムが起動します。または、ハードディスクにシステムをインストールしなおしてください。

 再セットアップ → 「PART2 再セットアップするには」



セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップ時に「名前と組織名」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後は変更できません。

変更する場合は、Windows NT 4.0 の再セットアップをする必要があります。

 再セットアップ → 「PART2 再セットアップするには」

電源を入れたが・・・

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない/ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイのマニュアルにしたがって、電源を入れてください。

それでも、点灯しないときは、『はじめにお読みください』をご覧ください、ディスプレイの電源を接続しなおしてください。

もういちど、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。購入元、NECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、「はじめにお読みください」にしたがって、電源ケーブルを接続しなおしてください。

電源ケーブルを接続しなおして、電源を入れても本体電源ランプが点灯していないときは、本体の故障が考えられます。購入元、NECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルを見て、画面の輝度とコントラストを上げてください。(液晶ディスプレイには、コントラスト調整機能がありません。)

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。購入元、NECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



「ピーッ」という音がしない

画面になにか表示されていますか？

画面になにも表示されていないときは、「ディスプレイに何も表示されない」をご覧ください。

スピーカのボリュームが小さくなっていませんか？

スピーカのボリュームを大きくしてください。



CRTディスプレイの画面の色が部分的におかしい

テレビや、ステレオのスピーカーなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRT ディスプレイから遠ざけてください。

CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

CRT ディスプレイのマニュアルを見て、画面を消磁してください。



CRTディスプレイは、強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自身が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、CRT ディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁（デガウス）を行ってください。



NECロゴ表示後「WARNING 0251:システムCMOSのサムチェックが正しくありません。 - デフォルト値が設定されました」と表示された

システムの設定が不正となっている可能性があります。システムの設定を工場出荷時の状態に戻し、再起動してください。



BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには

→『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 システム設定」の「BIOS セットアップユーティリティについて」



電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

次の操作を試してみてください。

まず、スリープボタンを押してください。

それでも画面になにも表示されない場合は、電源スイッチを押してください。

電源を入れてしばらくすると画面がまっくらになる場合、次の原因が考えられます。

- ・本体の省電力機能が働いてサスペンド状態になった。

- ・BIOS セットアップユーティリティによるサスペンド

本機は工場出荷時の状態で20分すると自動的にサスペンド状態になるように設定されています。この設定はBIOSセットアップユーティリティで変更できます。上記の手順 または でレジューム(元の状態に戻す)します。

- ・Timer-NXによって本体の電源が切れた

Timer-NXのタイマプログラムまたはオフタイマー機能を利用すると、時間を指定して本体の電源を切ることができます。上記の手順 で電源が入ります。

上記の設定を変更すると、画面をまっくらにする時間を変更したり、画面をまっくらにしないようにすることができます。



「Checking file system on X:」と表示される(「X」の部分は使用環境によって異なる場合があります。)

Windows NT 4.0では電源を切る際、作業中のファイルをディスクに保存し直すなど、いくつか処理を行うようになっています。電源を切る処理が正しくおこなわれなかった時にはこのようなメッセージが表示されます。

メッセージのあと、自動的にCHKDSKが実行されて、ハードディスクの内容がチェックされます。

ハードディスクに異常がなければ、Windows NT 4.0が起動し、その後は問題なくお使いいただけます。正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従ってください。もし、どうしてもWindows NT 4.0が起動しないなど再セットアップする必要がある場合は、再セットアップしてください。



参照 再セットアップ → 「PART2 再セットアップするには」



Windows NT4.0が起動しない

フロッピーディスクがドライブにセットされているときは、フロッピーディスクを取り出してから、電源を切り、もう一度電源を入れてください。(フロッピーディスクから起動したいときは、システムファイルが入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れなおしてください)

フロッピーディスクを取り出して再起動しても、Windows NT 4.0が起動しないときは、システムの設定が不正となっている可能性があります。システムの設定を工場出荷時の状態に戻し、再起動してください。

参照

BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

それでもWindows NT 4.0が起動しないときは、ハードディスクのシステムファイルに異常が起きたことが考えられます。システムの再セットアップを行ってください。

参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」



エラーメッセージが表示された

エラーメッセージを書き留めて、購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



Timer-NXや、別売の無停電電源装置とPower Chute PLUSのスケジュール運転機能などによる自動電源ONのときに、自己診断プログラムによるハードウェアチェックの結果、本体の異常を検出した。その後、一定時間経過したために、自動電源がOFFになった

再度、Timer-NXや、無停電電源装置とPower Chute PLUSのスケジュール運転機能などによる自動電源ON起動でエラーメッセージが表示された場合、ご購入元にご相談ください。



画面に何も表示されないまま、ピーピーという断続音がする

自己診断プログラムが画面の初期化を行う前にパソコン本体に異常を発見したときはピーピーという音がなります。このような場合は、お客様が増設された周辺機器を取り外してエラーが解決するかどうか確認してください。それでもエラーが表示される場合は、ご購入元にご相談ください。

 **チェック!!** ボリュームが小さくなっていると音は聞こえません。



パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

入力したパスワードが間違っていないですか？

正しいパスワードを入力してください。Windows NT 4.0では、パスワードは大文字、小文字を区別します。パスワードを入力する際は、キーボードの【Caps Lock】がロックされていないかどうか注意してください。



Windows NTのログオン時のパスワードを忘れてしまった

Administrator権限を持つユーザのパスワードを忘れてしまった場合は、Windows NT 4.0を再セットアップする必要があります。

また、Administrator以外のユーザパスワードを忘れた場合は、Administrator 権限を持つユーザでログオンし、「ユーザーマネージャ」でパスワードを変更することもできます。

ただし、ローカルマシンのAdministrator権限を持つユーザすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windows NT 4.0 の設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

 参照

再セットアップ → 「PART2 再セットアップするには」



別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった

本体と周辺機器が正しく接続されていますか？

『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 周辺機器を利用する」および周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続を確認してください。

割り込みレベルなどの設定に問題がありませんか？

拡張ボードなどの周辺機器の中には、本機に取り付ける際に割り込みレベル、DMA チャンネル、ROM アドレス空間の設定が必要となるものがあります。例えば、拡張ボードが使用しようとする割り込みレベルが本体ですでに使用されている場合、本機が起動しなくなったり、動作が不安定になることがあります。このような場合は、本体または拡張ボードのどちらかの設定を変更してください。

割り込みレベル、DMA チャンネル、ROM アドレス空間の本体の使用状況などは、『活用ガイド ハードウェア編』「PART4 付録」の「割り込みレベル一覧」および「DMA チャンネルの割り当て」で説明しています。周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

周辺機器の割り込みなどの設定を Windows NT 4.0 で確認するときは、「スタート」→「プログラム」→「管理ツール(共通)」→「Windows NT 診断プログラム」の順にクリックし、「Windows NT 診断プログラム」の「リソース」タブを表示させます。詳しくは Windows NT 4.0 のヘルプをご覧ください。

周辺機器の設定に問題がありませんか？

周辺機器によっては、周辺機器の設定スイッチの変更が必要な場合や、ドライバなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。必要な設定をしてください。



ユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワードを忘れてしまったユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワードが設定されているときにパスワードを忘れると、本機を使用できなくなったり BIOS セットアップユーティリティを起動できなくなったりします。設定したパスワードは、忘れないようにしてください。ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワードの解除のしかたについては、『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 システム設定」の「パスワードの設定」をご覧ください。

スーパーバイザーパスワードを設定していない場合、使用者以外が故意に、または誤ってユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワードを設定してしまうと本機が使用できなくなったり、BIOS セットアップユーティリティが起動できなくなります。このような恐れがある場合は、スーパーバイザーパスワードを設定しておいてください。

ユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワードを忘れると、本機や BIOS セットアップユーティリティを起動できなくなります。設定したパスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。

電源を切ろうとしたが・・・

パソコンの電源は必ずこの手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データやパソコンを損傷する原因となります。



電源を切れない。強制的に電源を切りたい

パソコンの電源を切るときは、「正しい電源の切りかた」の手順を守ってください。

正しい電源の切りかた

「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリックし、「Windows のシャットダウン」が表示されたら、「シャットダウンする」をクリックし、「OK」(または、「はい」)をクリックします。しばらくすると、自動的に電源が切れます。この方法で電源を切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられるので、【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を押すと、「Windows NT のセキュリティ」画面が表示されます。「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。次に「Windows NT タスクマネージャ」の「アプリケーション」タブをクリックします。右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集していた文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン→「シャットダウン」を選んでください。

この方法でも電源を切れないときは、つぎの「強制的に電源を切る方法」で電源を切ります。

強制的に電源を切る方法

パソコンの電源スイッチを 4 秒以上押しつづけてください。

なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直して、Windows NT 4.0 を起動させ、再度、「正しい電源の切りかた」の手順で電源を切ってください。



ワープロなどで文書を保存せずにアプリケーションを終了した。または、電源を切った。保存していないデータを消してしまった

アプリケーションを終了したり、電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。



万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存しておくようにしましょう。

サスペンド/レジューム機能を使おうとしたら…

このパソコンには、作業を中断するときなどに、作業内容を記憶して、パソコンの一部の電源を切るサスペンド機能があります。また、サスペンドする前の状態に復帰させるレジューム機能があります。復帰(レジューム)するときには、パソコン本体のスリープボタンを押します。

参照

サスペンド/レジューム機能 → 『活用ガイド ハードウェア編』 「PART1 本体の構成各部」 「電源」

スリープボタンを押してもサスペンドする前の状態の画面が表示されない(レジュームできない)

アプリケーションや周辺機器はサスペンド/レジューム機能に対応していますか？。

対応していないアプリケーションや周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使おうとするときは、サスペンド/レジュームは使わないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。

サスペンド中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

サスペンド中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、サスペンドした内容は消えてしまいます。

サスペンド中やディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？

サスペンド中に電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、サスペンドした内容は消えてしまいます。

自動的にサスペンドしてしまう

自動的に電源が切れた

自動的に画面がまっくらになる

工場出荷時は、約20分間パソコンを使わないとサスペンドするように設定されています。サスペンドしないようにするには、「BIOSセットアップユーティリティ」で設定を変更します。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』 「PART3 システム設定」の「省電力の設定」

パソコンがこわれそう…

パソコンの内部から、ガリガリと物をひっかくような音がしたり、ガガガとひっかかるような音がしたときなど、異常と思われることが起きたら、ここをご覧ください。



本機から煙が出たり、異臭がしたりする

本機が、手で触れられないほど熱い

本機から異常な音がする

その他、本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた

このようなトラブルが発生した場合は、次の手順で対応してください。

- 1 すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
- 2 ご購入元、最寄りの Bit-INN、NEC サービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



チェック!!

本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

『活用ガイド ハードウェア編』「PART4 付録」の「本機のお手入れ」にしたがって、柔らかい布などで拭き取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、購入元、NECにご相談ください。



NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった。

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、購入元にご相談ください。



チェック!

そのまま使用すると、発煙、発火や故障の原因になります。



CD-ROMドライブから異常な音がする

CD-ROMにラベルを貼ったりしていませんか?

CD-ROMは高速回転していますので、ラベルを貼ると回転時にバランスがとれず、異常音が出ることがあります。「CD-ROMを使っていたら」をご覧ください。



CD-ROM の取り扱い → 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROM ドライブ」または「PD ドライブ」

画面がおかしい・・・

パソコンの画面はいろいろな状態に設定できます。

参照 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」



画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき
『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」、ディスプレイのマニュアルにしたがって、表示位置やサイズを見やすく調節してください。

別売りのディスプレイを使っているとき
ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。くわしくはディスプレイのマニュアルを見てください。



コマンドプロンプト画面がフルスクリーンになった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。



デスクトップ画面が変わってしまった

Internet Explorer を 4.01 に選択または変更した。

Internet Explorer 4.01 は Active Desktop を標準で設定します。従来の Windows デスクトップに戻すには、マイコンピュータの「表示」メニューの「フォルダオプション」の「全般」タブで、「Active Desktop」の「従来の Windows デスクトップを使用する」を  (オン) にします。

ファイル、フォルダがおかしい・・・

ファイルが見つからないときや、間違えて消してしまったときは、ここを見てください。



ファイルが見つからない

ファイルがどのフォルダにはいっているかわからないとき
わからないときは、「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」で探してください。



フォルダやファイルを保存した日付がわかっているときは、「検索」ウインドウの「日付」タブで検索できます。

ファイルがどのフォルダにはいっているかわかっているとき

ファイルを表示しないように設定していませんか？

マイコンピュータや Windows NT エクスプローラの「表示」の「フォルダオプション」(Internet Explorer 3.02 をご利用の場合は「オプション」)で、「表示」タブを選び、「すべてのファイルを表示する」の  (オフ) をクリックして  (オン) にします。

ファイルのアイコンが、他のアイコンの下に重なって見えなくなっているませんか？

そのフォルダのウインドウの「表示」の「等間隔に整列」をクリック、または「アイコンの整列」の「アイコンの自動整列」をクリックして、アイコンを並べなおしてください。



必要なファイルを消してしまった

「ごみ箱」を開いて、フォルダやファイルが残っていないか確認してください。
残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルをクリックして、「ごみ箱」の「ファイル」メニューをクリックし、「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。



Windows NT 4.0では、フォルダやファイルを削除すると、いったん「ごみ箱」に保管されます。間違ってもフォルダやファイルを削除しても、「ごみ箱」から元に戻すことができます。

ただし、フロッピーディスクやMOディスクに保存されているフォルダやファイルを削除したときは、「ごみ箱」には保管されないで、元に戻すことはできません。



長いファイル名をつけられない。表示できない

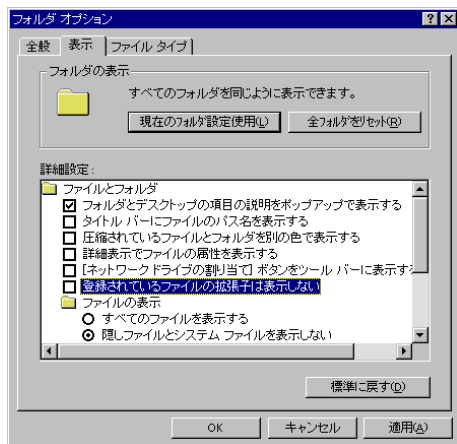
MS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows NT 4.0で、Windows NT 4.0用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows NT 4.0でMS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。



ファイルの拡張子が表示されない

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」の「フォルダオプション」(Internet Explorer 3.02をご利用の場合は「オプション」)の「表示」タブで、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックマークをはずして、☐ (オフ)にしてください。

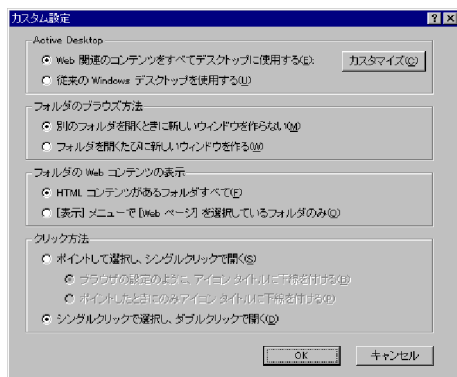




フォルダを開くたびに新しいウィンドウを表示したくない

Internet Explorer 4.01 をご利用の場合

マイコンピュータの「表示」メニューの「フォルダオプション」の「全般」タブで、「カスタム: 選択する設定に基づきます」を  (オン) にして、「設定」をクリックします。「フォルダのブラウズ方法」で、「別のフォルダを開くときに新しいウィンドウを作らない」を  (オン) にします。



Internet Explorer 3.02 をご利用の場合

マイコンピュータの「表示」メニューの「フォルダ」の「フォルダ」タブで、「別のフォルダを開くときに新しいウィンドウを作らない」を  (オン) にします。



文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた

電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万が一に備えて、大切なファイルはこまめに保存しておくようにしましょう。

音がおかしい・・・

異常な音がするときや、スピーカの音を調整したいときは、ここを見てください。

参照

音量の調整→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「サウンド機能」



異常な音がする

パソコンの内部から、ガリガリと物をひっかくような音がしたり、ガガガとひっかかるような音がしたとき

参照

「パソコンがこわれそう...」をご覧ください。

ハードディスクを使っているとき
ディスクランプの点滅と合わせて、本体より小さな音がする場合がありますが、これはハードディスクドライブの動作によるもので異常ではありません。ご心配の場合には、ご購入先にご相談ください。



スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)

マイクロホンスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大きな音が出ることがあります。これをハウリングといいます。故障ではありません。

マイクロホンとスピーカが近すぎませんか？

内蔵スピーカを使っているとき
マイクロホンパソコン本体から遠ざけて、パソコン本体正面の音量つまみで音量を下げてください。



ダイヤラーを利用時に音が出ない

ダイヤラーがボイス機能対応FAXモデムに対応していないのが原因です。ボイス機能対応のアプリケーションをご利用ください。

マウスを動かしても・・・

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは、    など、形を変えることがあります。

参照

マウスの設定を変えるには、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「マウス」の「設定を変更する」



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、マウスの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待つてください。

マウスとキーボードおよびキーボードと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』にしたがって、マウスとキーボードおよびキーボードと本体を接続しなおしてください。マウスのコネクタがキーボードから抜けていたり、キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

強制終了の方法

Windows NT 4.0が止まってしまった場合に、アプリケーションを終了する方法は次の通りです。キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を押すと、「Windows NT セキュリティ」が表示されます。「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。「Windows NT タスクマネージャ」が表示されます。「アプリケーション」タブをクリックします。



「状態」に「応答なし」と表示されているタスクを選んで、「タスクの終了」ボタンをクリックします。「Windows NT タスクマネージャ」が表示されない場合は、まず電源スイッチを約4秒以上押し続けて、本機の電源を強制的に切ってから、もう一度電源を入れてください。
プログラムを強制終了したり電源スイッチを押したりすると、それまでに保存しておかなかったデータは消えてしまいます。



Windows NT 4.0 セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。



マウスの動きが悪い

マウスの内部が汚れていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』「PART4 付録」の「本機のお手入れ」を見て、マウスの内部を掃除してください。

文字を入力しようとしたら...

文字は、キーボードから入力します。

漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオンにします。

使用できる日本語入力システムは、ご利用のモデルによって異なります。

参照 各モデルの日本語入力システムについて→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」「日本語入力」

参照 コントロールパネルでキーボードの設定をする方法→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」「設定を変更する」



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』にしたがって、キーボードと本体を接続しなおしてください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。

Windows NT の処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、アプリケーションで保存していなかった作業中のデータはなくなります。次に、キーボードと本体との接続を確認してください。

強制終了の方法

Windows NT 4.0が止まってしまった場合に、アプリケーションを終了する方法は次の通りです。キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を押すと、「Windows NT セキュリティ」が表示されます。「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。「Windows NT タスクマネージャ」が表示されます。「アプリケーション」タブをクリックします。



「状態」に「応答なし」と表示されているタスクを選んで、「タスクの終了」ボタンをクリックします。「Windows NT タスクマネージャ」が表示されない場合は、まず電源スイッチを約4秒以上押し続けて、本機の電源を強制的に切ってから、もう一度電源を入れてください。プログラムを強制終了したり電源スイッチを押したりすると、それまでに保存しておかなかったデータは消えてしまいます。



キーボードで押したキーと違う文字が表示される

キーボードの **[A]** (Caps Lock) ランプが点灯していませんか？

この状態では【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、ランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

日本語入力モードになっていませんか？

英字を入力したいときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角 / 漢字】を押して、日本語入力システムをオフにします。



ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

日本語入力システムはオンになっていますか？

日本語入力システムをつぎのどちらかの方法でオンにしてください。

- キーボードで【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押す。
- マウスでタスクバーの (日本語入力インジケータ)をクリックして、「日本語入力 - オン」をクリックする。

参照

日本語入力システムの種類を切り替えるには→「コントロールパネル」→「キーボード」

日本語入力システムそれぞれの設定の変更→日本語入力システムのヘルプ



「**」**(チルダ)を入力したい

【Shift】を押したまま、 を押します。



「**_**」(アンダースコア、アンダーバー)を入力したい

【Shift】を押したまま、 を押します。



記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「文字コード表」で開きます。



文字コード表の文字をクリックして、「文字の選択」をクリックします。「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。

参照 文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ



チェック!!

ご使用になるアプリケーションによっては、貼り付けた先でフォントを再指定する必要があるものがあります。

ファイルを保存しようとしたら・・・

ソフトウェアで、文書や画像などのファイルを保存しようとして、うまくいかないときは、ここを見てください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」および「フロッピーディスクドライブ」



保存できない

ハードディスクに保存しようとしたとき

ディスクの空き容量を確認してください。

「ハードディスクの空き容量が足りない」にしたがって空き容量を増やしてください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスク、MO ディスク、PD ディスク、Zip ディスクに保存しようとしたとき

ライトプロテクトされていませんか？

ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

フロッピーディスク、MO ディスク、PD ディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるようにずらしてください。

ディスクには、本当に書き込みをしているか、もう一度確認しましょう。

ディスクの空き容量を確認してください

ディスクの空き容量が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクのフォーマットを確認してください

640KB のフロッピーディスクは、書き込みできません。1.44MB、1.2MB、720KB のいずれかの容量で、MS-DOS、Windowsを利用してフォーマットしたフロッピーディスクを使ってください。

CD-ROM に保存しようとしたとき

CD-ROMは読み込み専用のディスクなので、ファイルを保存することはできません。

その他のディスクに保存しようとしたとき
不要なファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。



ファイル名の後ろに、入力していない文字「.jtd」「.doc」などがつく
これは、ファイルの種類を区別するための文字(拡張子)がファイル名の最後に自動的につけられたためで、異常ではありません。

おもな拡張子

拡張子には、つぎのようなものがあります。

.TXT	テキストファイル
.DOC	テキストファイル、 Microsoft WORD の文書データ
.jtd	一太郎 8 の文書データ
.BMP、.JPG、.TIF	画像データ
.hlp	ヘルプファイル
.WAV	WAVE 形式の音声データ
.EXE、.COM	実行可能プログラム



長いファイル名をつけられない

Windows NT 4.0 では、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて半角
で 255 文字までの「長いファイル名」を使えますが、MS-DOS や Windows
3.1 用のソフトウェアを使っているときは、長いファイル名は使えません。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら…

LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。



ネットワークへの接続方法がわからない

『活用ガイド ハードウェア編』『LAN(ローカルエリアネットワーク)』をご覧になり、リンクケーブルを正しく接続してください。また必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。



ネットワークに接続できない

接続後はデスクトップの「ネットワークコンピュータ」からLANを使用します。このウインドウには本機と、同じネットワークに接続しているほかのコンピュータが表示されます。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない



ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない



接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」で調べることができます。

ネットワーク関連機能(サービス、プロトコル等)を新しく追加した後に Service Pack 3を適用するのを忘れていませんか?

イベントビューアに「Server サービスは次のエラーのため終了しました。このコマンドを処理するのに必要な記憶領域をサーバ側で確保できません」とエラー表示されていたら、Service Pack 3を再度適用し、再起動してください。



参照 Service Pack 3のセットアップ→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「この章の構成」「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 3」について



転送されたデータが部分的に壊れている

本機が内蔵するネットワークインターフェイスは、最高で100Mbpsのデータ転送速度を持っています。この高速なデータ転送を利用するためには、必ずカテゴリ5のケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、転送中のノイズ等が原因となってデータが部分的に壊れてしまうことがあります。



共有したファイルやフォルダが使えない

ネットワーク上で、お客様がご使用になるコンピュータと他のコンピュータとファイルを交換するためには設定が必要になります。

お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていない

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

共有したいドライブまたはフォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定がおこなわれるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有するドライブやフォルダにアクセス権が設定されている

共有するドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りと書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



チェック!

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。



印刷しようとしたら・・・

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、アプリケーションの設定などが考えられます。ひとつずつ確認してください。

参照 プリンタの接続と設定方法 → プリンタに添付されているマニュアル



プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

接続ケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？

プリンタのマニュアルにしたがって、本体とプリンタを接続しなおしてください。

プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになってませんか？

プリンタのマニュアルにしたがって用紙やトナー、インクを補充してください。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルにしたがって設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見てケーブルを確認してください。

プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 プリンタドライバのセットアップ → プリンタのマニュアル、Windows NTのオンラインヘルプ

プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照

プリンタドライバの設定 → プリンタのマニュアル、Windows NTのオンラインヘルプ

プリンタがLAN接続されている場合は、ルータおよびマルチポートリピータの電源を確認してください。

フロッピーディスクを使っていたら…

フロッピーディスクや、外付けのMO、PDなどのリムーバブルディスクを使っていて問題が起きたときは、ここを見てください。



「マイコンピュータ」の3.5インチFDを開こうとしたが、フロッピーディスクの内容が表示されない

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

フロッピーディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、フロッピーディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」ボタンをクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」ボタンをクリックし、フロッピーディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、フロッピーディスクを入れても同じ現象が起きるときは、他のフロッピーディスクを入れてみてください。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のフロッピーディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。他のフロッピーディスクをセットしても内容が表示されないときは、フロッピーディスクドライブの故障が考えられます。販売店、NECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

フロッピーディスクのセット → 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」

メモ

フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れると、フロッピーディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、販売店、NECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

また、フロッピーディスクが壊れた場合に備えて、フロッピーディスクの内容はバックアップをとっておくようにしましょう。

「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき
セットしたフロッピーディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのフロッピーディスクが、フォーマットされていません。
フロッピーディスクに必要なファイルがはいっていないければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

参照 フロッピーディスクのフォーマット→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」



フロッピーディスク、MO、PD、Zipの読み込みはできるが、書き込みができない

参照 「ファイルを保存しようとしたら…」をご覧ください。



フロッピーディスクに飲み物をこぼしてしまった

本体の故障の原因になるので、汚れたフロッピーディスクは使わないでください。

フロッピーディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまうときに備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。



このパソコンに添付のフロッピーディスクを修復したい

参照 「添付品の修復、再入手方法について」をご覧ください。



フォーマットができない

フロッピーディスクには2DD、2HD の2種類があります。本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクは次のとおりです。

フロッピーディスク 媒体の種類	容量	読み書き *	フォーマット
2DD	640KB	×	×
	720KB		
	1.2MB	×	×
	1.44MB	×	×
2HD	640KB	×	×
	720KB	×	×
	1.2MB		
	1.44MB		

* MS-DOS または Windows でフォーマットされたものが使用できます。

ハードディスクを使っていたら・・・



マイコンピュータに内蔵ハードディスクが表示されない

BIOSセットアップユーティリティの設定を確認してください。

BIOSセットアップユーティリティの項目で「セットアップ」の「デバイス」の「IDE デバイス」で「デバイスタイプ」が「使用しない」になっていると、内蔵ハードディスクは使用できません。電源を入れて「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押し、次に【→】を押し「BIOS セットアップメニュー」を起動し、「メイン」のプライマリマスタのタイプを「自動」にしてください。「自動」に設定されているのにそのディスクが表示されない場合は、ご購入元にご相談ください。

システムの入っている内蔵ハードディスクを認識できないときはWindows NTを起動することができません。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

BIOSセットアップユーティリティ→『活用ガイド ハードウェア編』『PART3 システム設定』



ハードディスクの動作速度が遅い

ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このようなばらばらになったデータを最適な場所に整理するには「ハードディスクの最適化」を行ってください。



ハードディスクに障害がおきた

軽い障害であれば、エラーチェックプログラムを使って修復することができます。

参照

エラーチェックプログラムの実行方法→『活用ガイド ハードウェア編』『PART1 本体の構成各部』の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクの空き容量を増やすには、つぎの方法があります。

- ハードディスクを増設する

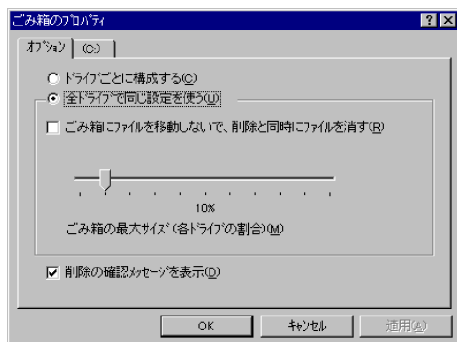
増設できるハードディスクの種類やハードディスクの増設の方法は、『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

- 「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」にはいっています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

- 「ごみ箱」の最大サイズを小さくする。

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」のウィンドウでおこないます。



- TEMP フォルダの中身を削除する。

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、ルート(¥)フォルダの中の TEMP フォルダに作られます。

メモ

アプリケーションを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。



インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する方法

インターネットエクスプローラで、既に表示したページを後で参照する必要がないときは、つぎの方法でハードディスクの空き容量を増やすことができます。

Internet Explorer 4.01をご利用の場合

「インターネットエクスプローラ」を起動します。

「表示」メニューの「インターネットオプション」を選びます。

「全般」タブをクリックし「インターネット一時ファイル」の「ファイルの削除」ボタンをクリックします。



「フォルダのすべてのファイルを削除しますか?」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

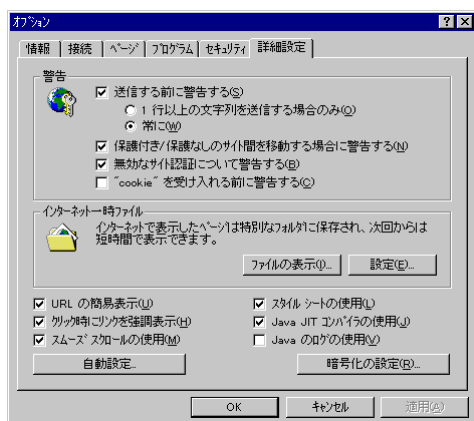
「OK」ボタンをクリックします。

Internet Explorer 3.02をご利用の場合

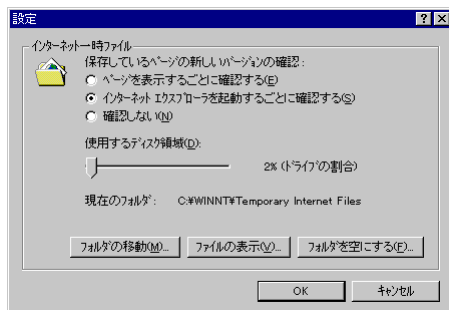
「インターネットエクスプローラ」を起動します。

「表示」メニューの「オプション」を選びます。

「詳細設定」タブをクリックし「インターネット一時ファイル」の「設定」ボタンをクリックします。



「フォルダを空にする」ボタンをクリックします。



「フォルダのすべてのファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックします。

● インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

参照▶ 添付アプリケーションの削除 → 「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」

別売りのアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されているマニュアルをご覧ください。



ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き容量が増えない
削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除
されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルを
ハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」を右クリックして「ごみ箱を空
にする」をクリックしてください。



領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない
カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1M バイト=1,000,000
バイト、1G バイト= 1,000,000,000 バイトで計算しています。これに対し、ハー
ドディスクを領域確保するときには、1M バイト= 1,048,576 バイト、1G バイト=
1,073,741,824 バイトで計算しているの、容量が少なく表示されることがあり
ますが、故障ではありません。



ハードディスクを増設したい

『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 周辺機器を利用する」で、この
パソコンに増設できるハードディスクの種類やハードディスクの増設の方法を説
明しています。



ドライブ構成を変えたい

内蔵ハードディスクのとき

再セットアップをおこないます。再セットアップ時に領域の削除・作成ができま
す。

システムドライブ以外は、ディスクアドミニストレータで領域の削除・作成ができま
す。ディスクアドミニストレータは「スタート」→「プログラム」→「管理ツール(共
通)」→「ディスクアドミニストレータ」をクリックして起動します。



参照 再セットアップの方法 → 「PART2 再セットアップするには」

増設したハードディスクのとき

ハードディスクをフォーマットします。

CD-ROMを使っていたら・・・

CD-ROMを使おうとして問題があったときは、ここを見てください。PDドライブ搭載モデルで、CD-ROMドライブとして使っているときも、ここを見てください。

参照 CD-ROMのセットのしかた、CD-ROMドライブの使用上の注意→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」または「PDドライブ」



CD-ROMドライブのトレイを出し入れできない

パソコンの電源は、入っていますか？

パソコンの電源を入れて、CD-ROMトレイジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのに、CDトレイが出てこない場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」にしたがって強制的に出してください。

アクセス中またはアプリケーションの動作中ではありませんか？

アクセス中またはアプリケーションの動作中はCDトレイジェクトボタンを押してもすぐに応答しません。



CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽CDの表裏を確認して、本体のCDトレイの中心にセットしてください。

参照 CD-ROM、音楽CDのセットのしかた→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」または「PDドライブ」

CD-ROM、音楽CDが汚れていませんか？

CD-ROMが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。

参照 CD-ROMの取り扱いについて→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」または「PDドライブ」

CD-ROM、音楽CDに傷が付いていませんか？

傷がついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。



本機に添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。



参照 CD-ROMの交換のお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

このパソコンになんらかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやりなおしてください。

このパソコンで使えるCD-ROMかどうか確認します。

このパソコンで使えるCD-ROMを使ってください。



アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。Windows NT 4.0を使うときは、Windows NT 4.0に対応したCD-ROMを使ってください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。

ドライブ番号は合っていますか？

アプリケーション指定のドライブ番号とシステムのドライブ番号が合っていないとCD-ROMのデータ読み出しはできません。



再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。



動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えたとき。

動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、いったん動画の再生を停止してから行ってください。

周辺機器を取り付けようとしたら・・・

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルを見て接続してください。

参照 周辺機器のマニュアル、『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 周辺機器を利用する」



PC-9800シリーズで使用していたプリンタが使用できない

プリンタインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使うことにより、PC-9800シリーズで使用していたプリンタが使えるようになります。



PC-9800シリーズでWindows 95上で使用していたオプションについては、Windows NT用のドライバが無い場合は使用できません。



PC-9800シリーズで使用していたシリアル機器が使用できない

RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)を使うことにより、PC-9800シリーズで使用していたシリアル機器が使えるようになります。



PC-9800シリーズでWindows 95上で使用していたオプションについては、Windows NT用のドライバが無い場合は使用できません。



周辺機器を取り付けたい

『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 周辺機器を利用する」や周辺機器のマニュアルをご覧ください。



PCIボードを取りつけたが動作しない。PCIボードを取りつけたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

PCIポートをパソコンに取り付けようとしても、割り込みが不足していることがあります。そのときは、BIOSセットアップユーティリティで、使っていない割り込みデバイスの割り込みを、「使用しない」に設定してください。たとえば、シリアルポート(B)を「使用しない」に設定すると、それまでシリアルポート(B)に割り当てられていた割り込みをPCIボードで使えるようになります。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「BIOSセットアップユーティリティ」を選びます。

BIOS セットアップユーティリティを起動します。

「セットアップ」→「デバイス」→「通信」を選びます。

「シリアルポート(B)」を「使用しない」に変更し、BIOSセットアップユーティリティを終了します。



このパソコンで使っている割り込みレベルを知りたい

『活用ガイド ハードウェア編』「PART4 付録」をご覧ください。

メモリが足りない、増やしたい・・・

いくつものアプリケーションを同時に起動したり、メモリをたくさん使うアプリケーションを使うときは、メモリが足りなくなることがあります。

参照 メモリの増設 → 『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 周辺機器を利用する」



メモリを増やしたい

『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 周辺機器を利用する」の「増設 RAM サブボード(メモリ)の取り外し / 取り付け」をご覧ください。

アプリケーションを使っていたら・・・

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



起動しなくなった

そのアプリケーションはサスペンド/レジューム機能に対応していますか？
対応していないアプリケーションでこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、サスペンド/レジューム機能は使わないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、4 秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。



参照 サスペンド/レジューム機能 → 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？
すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。
アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。



参照 メモリを増設するには → 『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 周辺機器を利用する」



文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた

「ファイル、フォルダがおかしい...」の「文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた」をご覧ください。



文字を入力できない

「文字を入力しようとしたら…」をご覧ください。



このパソコンで動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP 情報」でアプリケーションの情報を提供しています。つぎのアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



工場出荷時にインストールされたアプリケーションを削除したい

「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」をご覧ください。

メモ

一度削除すると再セットアップしないかぎり元にもどせない(追加できない)アプリケーションもあります。削除するときは十分注意してください。



フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。このときは、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」にしたがって、画面の表示色を変更してください。



アプリケーションをインストールできない

システム管理者にご相談ください。

アプリケーションがこのパソコンに対応しているか確認します。

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(工場出荷時の状態では、CドライブまたはDドライブ、Eドライブ、Fドライブ)に変えて、インストールしてください。

MS-DOS、または、Windows 3.1用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS、Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows NT 4.0にはインストールできないものがあります。



別売のアプリケーションについて知りたい

各アプリケーションの製造元にご確認ください。



このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

本機にインストールされているWindows NT Workstation 4.0 および別売のWindows NT Server 4.0 です。



Internet Explorer 3.02を使いたい

Internet Explorer 4.01 を削除します。(P.17)

「スタート」ボタン→「プログラム」→「インターネットエクスプローラ」をクリックしてください。「インターネットエクスプローラ」がない場合は、「Internet Explorer 3.02」の「追加」(P.28) をご覧ください。

日付の設定を変えようとしたら・・・

日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。

参照 日付と時刻の設定 → 「コントロールパネル」 → 「日付と時刻」



日付と時刻を合わせたい

「コントロールパネル」の「日付と時刻」を開き、設定してください。



このパソコン内蔵のカレンダー時計は、電池により電源を供給されており、電源を切っても動いています。日付と時刻を設定してもなお日付や時刻がずれる場合は、ご購入元にご連絡ください。



コンピュータウイルス対策について

コンピュータを回線やネットワークにつないで、データのやりとりが多くなると心配なのがコンピュータウイルス(以降ウイルス)です。

ここでは、ウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法と、検査するためのアプリケーションについて説明しています。



コンピュータウイルスとは...

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。お客様(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

用語 ウイルス

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入り込んだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病といいます。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションソフトのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動をおこないます。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。

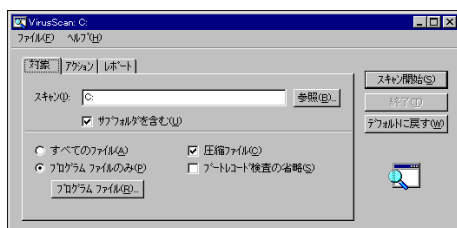
本機には「VirusScan for Windows NT」が用意されています。

NCSA 認定スキャナであるVirusScan は、「イン・ザ・ワイルド」ウイルスを100%検出することができます。認定状況については、NCSAのWebサイト(<http://www.ncsa.com>)を参照してください。

VirusScan を定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックさせることをおすすめします。

基本的な操作方法是以下の通りです。

(VirusScanを使用するにはVirusScan をセットアップする必要があります。)
VirusScanは「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan NT」→「VirusScan」をクリックすると起動できます。



「スキャン開始」ボタンをクリックしてください。ウイルス検査の対象とするドライブ、フォルダを細かに設定するには、「対象」プロパティの「スキャン」項目に検索対象を設定します。

その他の設定内容については、ヘルプファイルをご覧ください。設定項目を右クリックして、状況依存ヘルプを表示してください。

メモ

毎時、毎日、毎週、毎月というぐあいに定期的にウイルスを検索するスケジュールスキャン、ネットワークやフロッピーディスクを経由して入出力されるファイルをリアルタイム監視するオンアクセススキャンなどの機能もあります。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体（フロッピーディスク、ハードディスク、MOディスクなど）をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体（通称IPA）がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので（平成7年7月7日付通商産業省告示第429号）、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。

届け出先（IPA）

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目1番38号

秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301

FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。
ここにも見つからないときは、「トラブルを解決するには」の「他のマニュアル
やヘルプ、Readmeファイルを見る」以降を見てください。



表示されている画面を印刷したい

つぎの方法で画面を印刷できます。

印刷したい画面で【Print Screen】を押します。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「ペイント」をクリックします。

「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。

「ビットマップを大きくしますか？」と画面に表示されたときは、「はい」ボタンをクリックしてください。

「ファイル」メニューの「印刷」を実行します。



西暦2000年問題について知りたい

このパソコンは、西暦2000年問題に対応していますが、アプリケーションによっては問題が発生することが考えられます。

アプリケーションが西暦2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



NEC では、インターネットのホームページ「98Information」の「98AP 情報」で、西暦2000年問題についての情報を提供しています。つぎのアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えた時に、アプリケーションによっては年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。



このパソコンを海外で使いたい
海外では使えません。



このパソコンを廃棄したい

このパソコンを廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、各地方自治体にお問い合わせください。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、パソコンから遠ざけてください。また、パソコンは、それらの機器とは別の AC コンセントにつないでください。



再セットアップしたい

Windows NT Workstation 4.0を再セットアップする場合は、「PART2 再セットアップするには」をご覧ください。

Windows NT Server 4.0を再セットアップする場合は、「PART3 他の OS を利用する」の「Windows NT Server 4.0 を利用する」をご覧ください。

アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECのサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは、『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』または本書をご覧ください。



本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、登録内容の変更を行ってください。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

- 本体に添付されている全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください)

譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へ、お知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でご返送ください。

ただし、『98 OFFICIAL PASS お客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

本体保証書番号(製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC 本社ビル)

98 OFFICIAL PASS 登録センター係行



本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部分)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管) 液晶ディスプレイ いずれもディスプレイがセットになっているモデルのみ。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です（有料）。

フロッピーディスクの修復、CD-ROM の再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

(Windows NT 4.0 インストール)

初版、1998年5月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。